

目次

Corel PaintShop Photo Pro X3 へようこそ	1
このユーザーガイドについて	1
Corel® PaintShop Photo® Pro X3 の新機能	2
Corel® プログラムのインストールとアンインストール	4
プログラムを起動/終了する	6
Corel® 製品をユーザー登録する	7
プログラムのアップデート	7
Corel® サポート サービス	8
Corel® について	8
デジタル ワーク フロー	11
Corel PaintShop Photo Pro の使い方を習得する	15
Corel ガイドを使用する	15
「ラーニング センター」パレットの使用	16
ヘルプ システムを使用する	17
Web 上のリソースを利用する	18
ワークスペースの概要	19
ワークスペースを理解する	19
ワークスペース間の切り換え	25
パレットを使う	26
ツールバーを使う	28
ツールを使う	29

Corel PaintShop Photo Pro を使用するにあたって	35
Corel PaintShop Photo Pro に写真を取り込む	35
画像を開く / 閉じる	37
画像の保存	39
画像を削除する	41
画像のプレビュー、整理、検索	43
オーガナイザーを設定する	43
コンピューターから画像を検索する	45
画像にキーワード タグを追加する	45
タグが付けられた画像を検索する	47
カレンダーを使用して画像を検索する	47
フォルダーで画像を参照する	48
オーガナイザーでサムネイルを表示する	50
編集をキャプチャーして複数の画像に適用する	52
画像情報を表示および編集する	54
エクスプレス ラボを使用する	57
エクスプレス ラボの起動	58
エクスプレス ラボの基本を理解する	59
エクスプレス ラボの写真の取り込み	60
エクスプレス ラボを終了する	60
カメラ RAW 写真を使った作業	61
サポートされる RAW ファイル形式	62
カメラ RAW ラボを使用する	62
編集を複数の RAW 写真へ適用する	64
RAW 写真を他のファイル形式に変換する	65

画像を調整する	67
画像を回転する.....	68
画像をトリミングする.....	69
画像の傾きを補正する.....	71
基本的な写真補正を自動的に実行する.....	73
デジタルカメラノイズを取り除く.....	76
段階露出した写真を結合する.....	77
明るさとコントラストを調整する.....	79
色相と彩度を調整する.....	80
被写界深度を制御してフォーカス エリアを作成する.....	81
画像をタッチして保存する	85
赤目を修整する.....	85
美容補正を適用する.....	86
画像の傷とオブジェクトを除去する.....	91
画像領域を切り取る.....	93
画像領域の色を付け直してリアルな効果を演出する.....	95
「スマートカバー」による写真の拡大/縮小.....	97
選択範囲を使う	101
選択範囲を作成する.....	101
選択範囲を変更する.....	106
選択範囲を反転/クリアする.....	108
レイヤーを使用する	111
レイヤーを理解する.....	111
「レイヤー」パレットを使用する.....	114
レイヤーを作成する.....	115
レイヤーの名前を変更する.....	116

レイヤーを表示する	116
画像の中でレイヤーの順序を変更する	117
効果を適用する	119
効果を選択する	119
写真効果を適用する	123
ピクチャ フレームを画像に追加する	125
ピクチャ チューブ ツールを使用する	126
画像を歪ませる	126
色やマテリアルを使用する	129
マテリアルパレットを操作する	129
カラー ピッカーを使用して色を選択する	132
画像またはデスクトップから色を選択する	134
テキストを使用する	137
テキストを適用する	137
テキストの書式を設定する	140
印刷する	143
画像を印刷する	143
画像の電子メール送信とシェアリング	149
写真、ビデオ、フォトムービーを電子メールで送信する ...	149
画像をフォトシェアリング サービスに送信する	151

Corel PaintShop Photo Pro X3 へようこそ

Corel® PaintShop Photo® Pro は、手頃でプロフェッショナルな画像編集ソフトウェアのスタンダードを確立します。使いやすい作業画面で、写真を構成 / 編集し、RAW 画像ファイルを使用し、効果を適用し、さらに多くの事ができます。

Corel PaintShop Photo Pro の一部のバージョンには、フォトブック、スライドショー、カード、カレンダー、コラージュなどの写真やビデオのプロジェクト作成用のアプリケーションである「Corel PaintShop Photo Project Creator」も含まれています。このアプリケーションはプロジェクトの共有やバックアップにも役立ちます。

このセクションでは以下について説明しています。

- このユーザーガイドについて
- Corel® PaintShop Photo® Pro X3 の新機能
- Corel® プログラムのインストールとアンインストール
- プログラムを起動 / 終了する
- Corel® 製品をユーザー登録する
- プログラムのアップデート
- Corel® サポート サービス
- Corel® について

このユーザーガイドについて

このユーザー ガイドには、Corel PaintShop Photo Pro のワークスペースに慣れ、一般的なタスクや創作的な作業を開始するために必要な

情報があります。より包括的なヘルプを提供するように設計されており、他のラーニング リソースと同じようにプログラムで使用できます。追加のラーニング リソースの詳細については、「Corel PaintShop Photo Pro の使い方を習得する」の 15 ページを参照してください。

Corel® PaintShop Photo® Pro X3 の新機能

Corel PaintShop Photo Pro X3 は、手頃な価格で強力なプロ レベルのツールと機能を提供します。簡単に習得して驚くばかりの結果を生み出すことができるツール類を使用して、プロの写真家からデジタルカメラの初心者まで、どのような写真愛好家でも作品のレベルを一段と高めることができます。

- **写真の整理法** — 「オーガナイザー」の新しい写真管理機能でデジタルワークフローをカスタマイズできます。素早く写真を選択し、サムネイルと画像プレビュー機能を含む複数の表示が使用できます。詳細については、43 ページの「画像のプレビュー、整理、検索」を参照してください。
- **複数の写真の編集** — 一枚の写真を調整すると、同じ変更を他の複数の写真に適用できます。詳細については、「編集をキャプチャーして複数の画像に適用する」の 52 ページを参照してください。
- **拡張エクスペス ラボ** — この高速-編集モードを使用すると、写真を素早く編集できます。コントラスト、ローカルトーンマッピング、ノイズ除去、およびシャープネスを簡単に調整できます。レベル、コントラスト、カラーバランス、およびその他の変更もできます。詳細については、57 ページの「エクスペス ラボを使用する」を参照してください。
- **パフォーマンスの向上** — マルチコアプロセッサ用のマルチスレッドサポートにより、より速いスピードとより強い編集パワーが得られます。

- **スマートカーバー** — 新しいシームカービングツールにより、画像からオブジェクトをつなぎ目なく切り取ることができます。また、オブジェクトを歪ませることなく、その比率を変更したり切り取ったりすることもできます。詳細については、97 ページの「スマートカーバー」による写真の拡大/縮小を参照してください。
- **追加 RAW フォーマットのサポート** — ローディングプロセス中に RAW 調整ができ、より多くの RAW カメラフォーマットで作業することもできます。詳細については、「カメラ RAW 写真を使った作業」の 61 ページを参照してください。
- **自然な彩度** — 自然な彩度機能により、スキントーンを大きく変えることなく画像の低彩度な部分の色を強めることができます。詳細については、「色相と彩度を調整する」の 80 ページを参照してください。
- **オブジェクトの抽出** — 新しい統合オブジェクトの抽出により、オブジェクトを分離でき、それらを別の背景にコピーしたり、それらの後側に別の背景を貼り付けることもできます。詳細については、93 ページの「画像領域を切り取る」を参照してください。
- **画像上のテキスト編集** — アップデートしたテキストエンジンにより、テキストを直接イメージウィンドウに付け加えることができます。画像の流れに従って、テキストのフォント、色、配置、位置、サイズ、巻き付けなどを調整できます。詳細については、137 ページの「テキストを使用する」を参照してください。
- **簡単な共有** — e メール、Flickr®、Facebook®、および YouTube™ を使用して、好きな場所で好きなように写真やビデオを共有できます。家庭やオンラインで印刷することもできます。詳細については、Corel PaintShop Photo Project Creator のヘルプを参照してください。
- **統合されたクリエイティブなプロジェクト** — Corel PaintShop Photo Project Creator により、素晴らしいフォトブック、コラージュ、カード、その他が作成できます。簡単なオ

オンライン共有オプションも含まれています。詳細については、Corel PaintShop Photo Project Creator のヘルプを参照してください。

- **HD ビデオ**—本製品はハイビジョン（HD）ビデオをもサポートしています。お手持ちの写真やビデオで HD スライドショーやムービーが作成できます。詳細については、Corel PaintShop Photo Project Creator のヘルプを参照してください。
- **Windows® 7 との互換性**— Corel PaintShop Photo Pro は Windows® XP、Windows Vista®、および Windows 7® と完全に互換性があります。

Corel® プログラムのインストールとアンインストール

アプリケーションのインストーラーを使用すると、Corel アプリケーションおよびコンポーネントを容易にインストールおよびアンインストールできます。

インストールする前の注意事項：

- 開いているすべてのアプリケーションを閉じます。ウイルス検出ソフトウェアやファイアウォールなどのアプリケーションはインストールに影響する場合があります。
- コンピューターに管理者またはローカル管理ができるユーザーでログインしていることを確認してください。

Corel PaintShop Photo Pro をインストールするには

- 1 使用中のアプリケーションを終了します。
- 2 DVD をドライブに挿入します。

セットアップが自動起動されない場合は、コンピューターの DVD ドライブを開き、**セットアップ**（Setup.exe）をダブルクリックします。

- 3 画面に表示される指示に従います。

Corel PaintShop Photo Pro と Corel PaintShop Photo Project Creator は別々にインストールしなければなりません。

Corel PaintShop Photo Project Creator をインストールするには

- 1 DVD をドライブに挿入します。

インストーラーが自動起動されない場合は、コンピューターの DVD ドライブを開き、**セットアップファイル** (Setup.exe) をダブルクリックします。次のステップはスキップします。

- 2 PaintShop Photo Project Creator のインストールをクリックします。
- 3 指示に従います。



Corel PaintShop Photo Pro の一部のバージョンには Corel PaintShop Photo Project Creator アプリケーションが含まれていないことに留意してください。

アンインストールするには Corel PaintShop Photo Pro

- 1 Windows® タスクバーの「開始」▶「コントロールパネル」をクリックします。
- 2 次のいずれかの操作を行います。
(Windows Vista または Windows 7) 「プログラム」カテゴリで、「プログラムをアンインストールする」リンクをクリックします。
(Windows XP) 「プログラムの追加と削除」アイコンをクリックします。
- 3 アプリケーションのリストから、Corel PaintShop Photo Pro X3 を選択し、「アンインストール・変更」または「変更・削除」をクリックします。
- 4 画面に表示される指示に従います。



設定などのユーザー作成のファイルをアンインストール処理中に除去できます。チェックボックスの Corel PaintShop Photo Pro X3 「すべての個人設定を削除します」をマークし、「削除」をクリックします。

プログラムを起動/終了する

Corel PaintShop Photo Pro は Windows のタスクバーから起動でき、またプログラムの「ファイル」メニューバーから終了できます。

最初に Corel PaintShop Photo Pro を起動するときには、ファイル形式をプログラムと関連付けるようにメッセージが表示されて、コンピューターが Corel PaintShop Photo Pro を使用するときには常にそのフォーマットでファイルを開くようになります。詳細については、ヘルプの「ファイル形式の関連付けを設定する」を参照してください。

Corel PaintShop Photo Pro を起動するには

- Windows のタスクバーで、「開始」▶「すべてのプログラム」▶ Corel PaintShop Photo Pro X3 ▶ Corel PaintShop Photo Pro X3 をクリックします。



JPEG や TIFF などの特定のファイル形式を Corel PaintShop Photo Pro に関連付けている場合は、対応するファイルをダブルクリックするとプログラムが起動します。

Corel PaintShop Photo Pro を終了するには

- 「ファイル」▶「終了」をクリックします。

Corel® 製品をユーザー登録する

Corel 製品の登録を行っていただければ、最新の製品の更新や価値ある製品のリリース情報にタイムリーに確実にアクセスできます。登録によって、無料ダウンロード、情報、ヒント、特別提供なども利用できます。

インストール時にプログラムを登録するか、後で登録することができます。

次のいずれかの操作で、プログラムを登録できます。

- **オンライン** – Corel グラフィック プログラムのインストール時にインターネットに接続している場合は、オンライン登録を起動できます。インターネット接続が検出されない場合は、オプションのリストが提供されます。
- **電話** – お近くの Corel カスタマー サービス センターに電話をして、ユーザー登録を行うことができます。

Corel 製品の登録の詳細については、corel.jp/reguser にアクセスしてください。


プログラムのアップデート

製品の更新を確認できます。更新により、プログラムに関する新しい重要情報が通知されます。

プログラムを更新するには

- 「ヘルプ」▶「更新のチェック」を選択します。



プログラムの自動更新をオンまたはオフに設定するには、「ヘルプ」▶「Corel ガイド」をクリックします。Corel® ガイドで、「製品情報と環境設定」ボタン  をクリックして、「メッセージ設定」を選択します。必要なオプションをマークします。

Corel® サポート サービス

Corel サポート サービスでは、製品の機能、仕様、価格、サービス、およびテクニカル サポートに関する正確な情報を迅速に提供しています。Corel 製品のサポート情報については、www.corel.jp/support をご覧ください。

テクニカルサポート

Corel のテクニカルサポートは、インストールや製品の欠陥（Corel ソフトウェアが原因のクラッシュやエラーなどを含む）に関する技術的な問題の解決をサポートします。

電話によるサポート

多くのお客様が Corel サポート担当者との電話によるサポートを希望されています。個人、小規模ビジネス、大学機関、試用版、および OEM ユーザーを対象とした電話サポートが用意されています。

サポートには、機能の動作方法やサンプル ドキュメントへの適用方法、技術的な問題やドキュメントのトラブルシューティング、スタンドアロン コンピューターへのインストール / 構成 / 設定、ソフトウェアバージョンの移行などに関する説明が含まれます。ただし、お客様のファイル内で機能を実行する方法の説明はサポートに含まれません。

詳しくは www.corel.jp/support をご覧ください。

Corel® について

Corel は世界トップクラスの規模を誇るソフトウェア会社であり、75 カ国以上に合計 1 億人を超えるユーザーを抱えています。ソフトウェアを開発し、より楽しく、便利な方法でユーザーの創造性を高め、作品を共有できるようお手伝いします。長年にわたり、当社製品は操作性、機能性、信頼性などあらゆる面において、ユーザーに高

く評価されてきました。業界から、ソフトウェアの革新、デザイン、価値に関する賞を数多く受賞しています。

受賞した製品には、CorelDRAW® Graphics Suite、Corel® Painter™、Corel DESIGNER® Technical Suite、Corel® PaintShop Photo® Pro、Corel® VideoStudio®、Corel® WinDVD®、Corel® WordPerfect® Office、WinZip®、および最近リリースしました Corel® Digital Studio™ 2010 など、世界各地で認識され使用頻度の高いソフトウェアブランドがあります。カナダのオタワ州に世界本社を構え、アメリカ、イギリス、ドイツ、中国、台湾、日本に主要拠点を置いています。

デジタル ワーク フロー

Corel PaintShop Photo Pro の使用法を以下のデジタルワークフロー図に示します。この図には、デジタル画像処理の手順が示されています。フォトブックやスライドショーを整理、レタッチ、または結合する場合には、下記のワークフローをガイドとして使用できます。



Corel PaintShop Photo Pro のデジタル ワーク フロー

写真を取り込む

最初のステップは、写真をデジタルカメラ、メモリーカード、またはその他の保存デバイスからコンピューターに転送することです。また、スキャンした画像にプログラムからアクセスすることもできます。

Corel PaintShop Photo Pro をインストールすると、Corel Photo Downloader も自動的にインストールされます。カメラまたは保存デバイスをコンピューターにつなぐと、

Corel Photo Downloader がデバイスを検知し、写真とビデオクリップの転送のお手伝いをします。

詳しくは、ヘルプ内の以下のトピックを参照してください。

- Corel PaintShop Photo Pro に写真を取り込む
- イメージスキャナと接続する

整理

デジタル写真技術により、たくさんの写真を自由に撮れるようになりました。この自由により多くのデジタルファイルが作成されるので、写真家はそれらのファイルを、できるだけ早く、写真を抜粋し、保管する写真を確認することによって管理する必要に迫られます。

「オーガナイザー」の作業画面では、抜粋、ランク付け、タグ付け、および編集または共有用に新しくダウンロードしたファイルの準備をするのに必要なすべてのツールにアクセスできます。検索オプションとコレクションにより、現在コンピューターに保存してある写真を簡単に見つけ出し、加工することができます。

詳細については、「画像のプレビュー、整理、検索」の 43 ページを参照してください。

クイック調整

保管する写真が決まったら、それらをクイック調整とタッチアップをする場合があります。「オーガナイザー」から以下のオプションにアクセスできます。

- **エクスプレス ラボ** – 個々の写真をすばやく編集する作業画面。赤目、露出、色、シャープネス、およびノイズの問題を補正できます。また、写真に写っている人と他の被写体をすばやくタッチアップできます。

- **キャプチャーと適用** – 一枚の写真の編集をキャプチャーし、その変更を他の複数の写真に適用することによって時間を節約する機能。

詳しくは、ヘルプ内の以下のトピックを参照してください。

- エクスプレス ラボを使用する
- 編集をキャプチャーして複数の画像に適用する

高度な編集と RAW ファイル

フルエディター作業画面では、プロレベルのツールと機能が使用できます。たとえば、「フルエディター」では、効果を適用し、テキストを付け加えることができます。さらに、レイヤーを使用して非常にフレキシブルな複合画像を作成したり、選択とマスクによって画像範囲を分離したり、トーンカーブ、ヒストグラム、およびその他の高度な調整ツールにアクセスすることもできます。

RAW ファイルの作業を完全にコントロールするには、カメラ RAW ラボで写真を処理します。

詳しくは、ヘルプ内の以下のトピックを参照してください。

- 画像を調整する
- 画像をレタッチして保存する
- 選択範囲を使う
- レイヤーを使用する
- 効果を適用する
- テキストを使用する
- カメラ RAW 写真を使った作業

写真とプロジェクトの共有

写真を調整し、仕上げたら、それらを共有することができます。伝統的な焼き付け、レイアウト、および e メールオプションに加えて、

アプリケーションの一部のバージョンには、焼き付けの注文およびフォトブック、カレンダー、カード、コラージュなどのプロジェクトの作成が簡単にできる Corel PaintShop Photo Project Creator が含まれています。写真とビデオクリップを組み合わせた美しいマルチメディアスライドショーも作成できます。これは、自分のカメラで撮影した HD ビデオクリップを共有するすばらしい方法です。

共有オプションは Corel PaintShop Photo Project Creator に組み込まれていますので、写真やプロジェクトを簡単に Facebook、Flickr、および YouTube にアップロードできます。

詳しくは、ヘルプ内の以下のトピックを参照してください。

- 印刷する
- 画像の電子メール送信とシェアリング

Corel PaintShop Photo Project Creator の詳細は、Corel PaintShop Photo Project Creator アプリケーションのヘルプを参照してください。

バックアップとアーカイブ

写真とビデオクリップが保護されていることを確認するのは、デジタルワークフローにおいて大変重要なステップです。メディアファイルを一箇所だけに保存しておく、コンピューターまたは保存デバイスが故障した場合に写真とビデオを失う危険があります。

ファイルは、Corel PaintShop Photo Project Creator で CD または DVD に簡単にバックアップすることができます。詳細については、Corel PaintShop Photo Project Creator のヘルプの「バックアップディスクを作成する」を参照してください。

Corel PaintShop Photo Pro の使い方を習得する

Corel PaintShop Photo Pro の使い方は、「ヘルプ」および「Corel Guide」にアクセスする、「ラーニングセンター」パレットを使用する、Corel Web サイト (www.corel.jp) にあるリソースを調べてヒント、チュートリアル、トレーニング情報にアクセスする、などの方法があります。

このセクションでは以下について説明しています。

- Corel ガイドを使用する
- 「ラーニングセンター」パレットの使用
- ヘルプシステムを使用する
- Web 上のリソースを利用する

Corel ガイドを使用する

Corel ガイドは、プログラムに関する最新情報を提供しています。ヒントを見る、プロジェクト用の新しいスタイルやコンテンツをダウンロードする、写真およびビデオを共有する新しい方法を探す、プログラムの最新アップデートにアクセスするなどが行えます。

Corel ガイドにアクセスするには

- 「ヘルプ」▶「Corel ガイド」を選択します。

「ラーニング センター」パレットの使用

「ラーニング センター」パレットには、経験のあるユーザーの作業を早くするだけでなく、初めて使用するユーザーを助ける、Corel PaintShop Photo Pro のタスク、コマンド、ツールについての役に立つ情報が用意されています。「ラーニング センター」パレットのホームページには、タスク別のワークフローが用意されており、写真をプログラムに取り込むことから始めます。そこから、ワークフローに従って、画像ファイルの検索や整理、写真の調整やレタッチ、コラージュの作成、テキスト、グラフィック、効果の追加、作成物の印刷と共有などのタスクを実行します。

「ラーニング センター」パレットを表示または非表示にするには

フル エディター ワークスペース

- 「表示」▶「パレット」▶「ラーニング センター」を選択します。



既定では、「ラーニング センター」パレットは表示されます。フル エディター作業領域の左側に表示されます。

「ラーニング センター」パレットを使用するには

フル エディター ワークスペース

- 1 ホームページで、タスクをクリックします。
タスクに関連するトピックが表示されます。
- 2 トピックをクリックします。
トピックに関連する手順が表示されます。
 - ツールについて記述するトピックでは、そのツールがアクティブになります。ツール オプション パレットと他の関連パレットが表示されます。
 - ダイアログ ボックスに関連付けられているコマンドについて記述するトピックでは、ダイアログ ボックスが表示されます。

- 3 ツールまたはコマンドの使用に関する処理を読みます。



画像が開かれていない場合は使用できないタスクとコマンドがあります。

ヘルプ システムを使用する

Corel PaintShop Photo Pro に関する最も包括的な情報源は、プログラムから使用できるヘルプです。「ヘルプ」システムは、情報を探すための 2 種類の方法を提供します。目次ページからトピックを検索する、または検索ページを使用して特定の語句を検索する、という方法です。

ヘルプ システムにアクセスするにはインターネットに接続している必要があるということに留意してください。

ヘルプ システムを使用するには

- 1 次のいずれかの操作を行います。
 - オーガナイザーまたはフル エディターで、ヘルプ▶ヘルプトピックをクリックします。
 - 「エクスプレス ラボ」 ツールバーで、「ヘルプトピック」をクリックします。
- 2 ヘルプウィンドウで、以下のいずれかのタブをクリックします。
 - 「目次」 – 「ヘルプ」内のトピックを順に表示できます。
 - 「検索」 – 「ヘルプ」の全文を対象に特定の単語や句を検索できます。たとえば、特定のツールまたはコマンドについての情報を検索する場合、「バックライト」などのツールまたはコマンドの名前を入力して、関連トピックのリストを表示することができます。フレーズで検索するには、フレーズを入力して引用符で囲む必要があります（たとえば、「スマート修整」のように入力します）。

目的

ダイアログ ボックスのヘルプ を表示する	ダイアログ ボックスの下の方にある 「ヘルプ」をクリックします。
Corel Web サイトの情報および トラブルシューティング情報 にアクセスする	オーガナイザーまたはフル エディ ターで、ヘルプ▶「オンライン サ ポートとリソース」を選択します。

Web 上のリソースを利用する

Corel PaintShop Photo Pro の「ヘルプ」メニューから、カスタマー サポートに関連する数多くの Web サイト ページにアクセスすることができます。

Web 上のリソースにアクセスするには

- 「ヘルプ」メニューで、次のいずれかの Web サイト リンクを選択します。
 - **コンタクト情報** — このリンクは、カスタマー サービスやテクニカル サポートのコンタクト情報などを掲載したカスタマー サポート ページを表示します。
 - **「オンライン サポート/リソース」** — Corel サポート サービス ページにアクセスして「Corel ナレッジベース」およびニュースグループで回答を検索したり、「テクニカル サポート」に質問を送信したり、フィードバックを送ったり、ソフトウェアの更新を検索したりすることができます。
 - **「更新のチェック」** — Corel 更新サービス Web サイトを確認して、お使いの Corel PaintShop Photo Pro の更新があるかどうかを確認することができます。

ワークスペースの概要

Corel PaintShop Photo Pro には画像を整理・編集するための3つのメインワークスペースがあります。それらは「オーガナイザー」、「エクスプレス ラボ」、および「フルエディター」です。

このセクションでは以下について説明しています。

- ワークスペースを理解する
- ワークスペース間の切り換え
- パレットを使う
- ツールバーを使う
- ツールを使う

ワークスペースを理解する

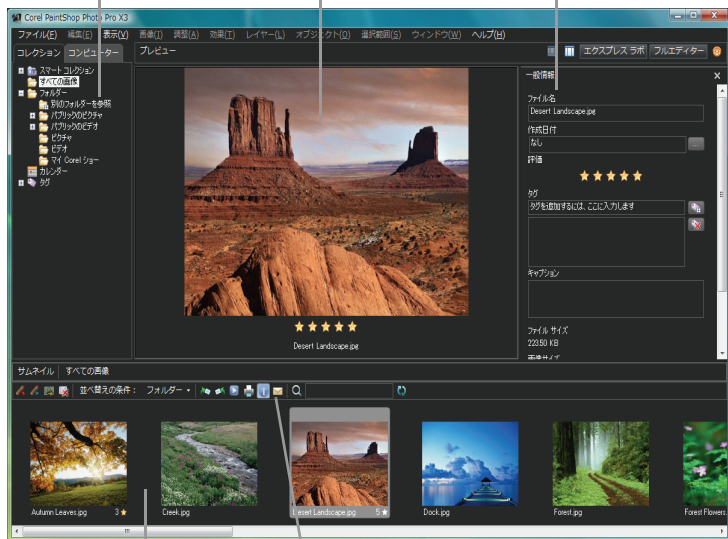
「オーガナイザー」、「フルエディター」、「エクスプレス ラボ」の各メイン Corel PaintShop Photo Pro ワークスペースには、作業をすばやく効果的に行うための特定のツールとコントロールが含まれています。

すべての開いている画像とその拡大率、画面上での位置に加えて、パレット、ツールバー、ダイアログ ボックス、ウィンドウの位置や設定も含む、「オーガナイザー」と「フルエディター」のワークスペースを保存できます。カスタム ワークスペースの使用方法については「ワークスペースを使用する」を参照してください。「エクスプレス ラボ」はカスタマイズできないことに留意してください。

オーガナイザー

アプリケーションを起動すると、「オーガナイザー」が既定のワークスペースとして表示されます。

「ツリー」パネル 「プレビュー」ウィンドウ 「一般情報」パネル



「サムネイル」パネル オーガナイザーツールバー

「プレビュー」モードの「オーガナイザー」

ここには、画像をプレビュー、整理、カタログ化する4つのパネルがあります。

- 「ツリー」パネルは2つのタブから構成されていて、それらのタブには画像のカタログ化と並べ替え用のコンピューター上のフォルダーまたは仮想フォルダーとタグが表示されます。

- 「サムネイル」パネルは、「ツリー」パネル内で選択されたフォルダーのすべての画像を表示します。また、バッチ処理、並べ替え、表示、検索、表示の更新など、一般的なコマンドのツールバーも表示します。
- 「プレビュー」ウィンドウは、「サムネイル」パネルで選択されたサムネイルの画像を表示します。
- 「一般情報」パネルは、選択された画像のファイル名、サイズ、作成日、画像サイズ、評価、EXIF データなどの追加情報を表示します。

「エクスプレス ラボ」

「エクスプレス ラボ」は高速編集用のワークスペースです。このワークスペースは、写真がすばやく補正・強調できるように、写真の編集、表示、および管理に使用される最も一般的ツールを提供します。



サムネイル 「戻る」および「次へ」ボタン 「画像の取り込み」ボタン

エクスプレス ラボに表示された写真

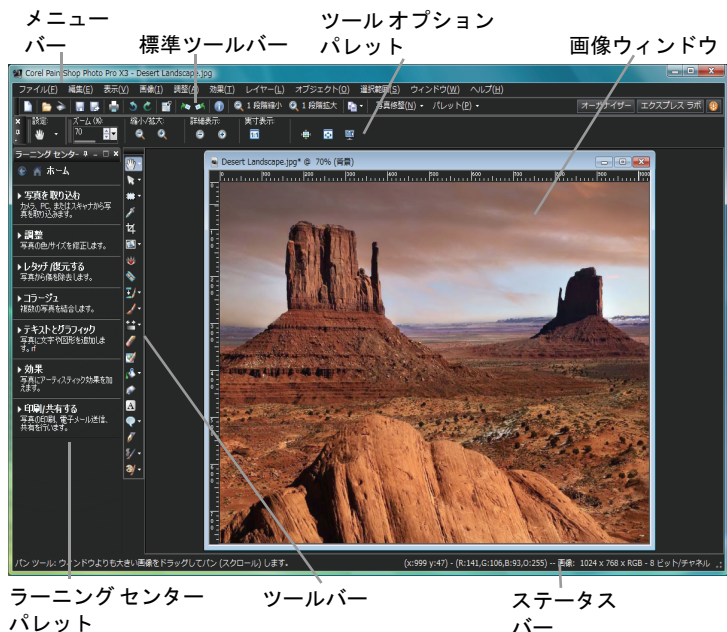
「エクスプレス ラボ」のワークスペースには、次のコンポーネントが含まれています。

- 「プレビュー」ウィンドウ - 「メディアトレイ」内で選択された写真を表示します。
- 「戻る」と「次へ」ボタン - 選択したフォルダー内の写真をスクロールします。
- 「星評価」コントロール - 好みの写真がすぐに見つかるように、各写真に評価を付けます。
- 「ツールバー」最も一般的な保存、表示、および編集コマンドにアクセスするボタンを表示します。
- 「ツール設定」領域 - ツールバー上で選択したツールの設定を表示します。

- 「メディアトレイ」－ 選択したフォルダーの写真を表示します。
- 「ステータスバー」－ 選択したツールについての情報を表示します。
- 「写真を取り込む」ボタン－ 編集する写真のあるフォルダーを開きます。
- 「エクスプレス ラボの終了」ボタン－ 「オーガナイザー」または「フルエディター」のワークスペースに切り換えます。

フルエディター

「フルエディター」は非常に高度な編集用のワークスペースです。このワークスペースは、画像を作成 / 編集するための各種メニュー、ツール、パレットなどで構成されています。写真の編集に加えて、このワークスペースではペイントや描画などの作業もできます。



「フルエディター」ワークスペースに表示された写真

「フルエディター」ワークスペースには、次のコンポーネントが含まれています。

- **メニューバー** — タスクを実行するためのコマンドを表示します。たとえば、「効果」メニューには、画像に効果を適用するためのコマンドが用意されています。
- **ツールバー** — 一般的なコマンドのボタンを表示します。詳細については、「ツールバーを使う」の 28 ページを参照してください。
- **パレット** — 画像情報を表示し、ツールの選択、オプションの変更、レイヤーの管理、色の選択、編集タスクの実行などを行うこ

とができます。詳細については、「パレットを使う」の 26 ページを参照してください。

- **ステータス バー** — 画像サイズ、色数、マウス ポインタの位置など、画像の情報に加えて、選択されているツール、メニュー コマンドに関する情報を表示します。ステータス バーはプログラム のメイン ウィンドウの一番下に表示され、他のツールバーと違って、カスタマイズしたり移動したりすることはできません。

ワークスペース間の切り換え

Corel PaintShop Photo Pro により、最も効果的な方法で写真の管理・編集作業を行えるように、異なるワークスペース間ですばやく簡単に切り換えることができます。

ワークスペース間で切り換えるには

次のいずれかの操作を行います。

- 「オーガナイザー」を開くには、「フルエディター」の右上隅の「オーガナイザー」または「エクスプレス ラボ」の右下隅の「エクスプレス ラボの終了」をクリックします。
- 「エクスプレス ラボ」を開くには、「オーガナイザー」または「フルエディター」の右上隅の**エクスプレス ラボ**をクリックします。
- 「フルエディター」を開くには、「オーガナイザー」の右上隅の「フルエディター」またはエクスプレス ラボの右下隅の「**エクスプレス ラボの終了**」をクリックします。



「**エクスプレス ラボの終了**」をクリックすると、「エクスプレス ラボ」を開く前に使用していたワークスペースが開きます。

パレットを使う

「フルエディター」ワークスペースには、画像を編集するのに役立つ情報やコマンドを整理できる、多くのパレットがあります。一部のパレットには、「フルエディター」を起動したときに自動的に表示されるものと、特定のツールをアクティブにすると表示されるものがあり、開くことを選択した場合にのみ表示されるパレットもあります。「標準」ツールバーの「パレット」ドロップリストを使用するか、「表示」▶「パレット」を選択して、パレットのオンとオフを簡単に切り替えることができます。

パレットには情報が表示されます。コントロールとコマンド ボタンの両方が含まれていることもあります。ツールバーと同様に、パレットは既定のドッキング位置から移動できます。

パレット	説明
ラーニング センター	共通タスクをすばやく効率よく実行できるワークフロー、ツール、およびコマンドに関する情報を表示します。
メディア トレイ	さまざまなフォルダーから写真を集めて、編集したり、電子メールで送信したり、印刷することができます。ワークフローに合わせて、「メディア トレイ」パレット内でトレイの追加、削除、名前の変更などを実行できます。
ツール オプション	現在のツールの設定とコントロールを表示します。
マテリアル	ペイント、ドロー、塗りつぶし、レタッチに使用する色やサンプルを選択できます。
レイヤー	画像レイヤーの表示、整理、調整ができます。
オーバービュー	現在の画像のサムネイルを表示し、ズーム レベルを適正に設定し、画像情報を表示します。

パレット

説明

履歴	現在の画像で行われるアクションの一覧を表示します。隣接するアクションまたは隣接しないアクションを元に戻したり、他の開いている画像に即座に適用できる クイックスクリプトを作成することができます。
ヒストグラム	画像内の赤、緑、青、グレースケール、色相、彩度、明度の分布のグラフを表示します。シャドウ、中間調、ハイライトの詳細の分布を分析することによって、どのような補正を行うかを決定します。
ブラシ オプション	ペイント ブラシまたはその他のラスタ ペイント ツールを使用するときに、追加のブラシ オプションを設定できます。このパレットは、4次元マウスや筆圧感知タブレットを使用しているときに特に便利です。たとえば、筆圧を適用することによって、ブラシストロークの不透明度を変えることができます。また、マウスでの作業に適しているオプションもあります。
ミキサー	「油彩 ブラシ」ツールや「パレット ナイフ」ツールで使用する絵の具を出し、混ぜることができます。リアルな油彩ペイントのストロークを「アート メディア」レイヤーで作成できます。
スクリプト出力	スクリプトを実行したときのアクションと結果の一覧を表示します。

パレットの表示 / 非表示を切り替えるには

フルエディター ワークスペース

- 「表示」▶「パレット」を選択してから、パレットのチェックボックスを一つクリックします。

現在表示されているパレットには、チェック マーク が付けられています。

ツールバーを使う

3つのワークスペースすべてに、一般的なタスクを実行するのに役立つボタン付きのツールバーが表示されます。ポインタをボタンの上に置くと、ツールヒントにそのボタンの名前が表示され、ステータスバーにはコマンドの追加情報が表示されます。さらに、「フルエディター」の場合には、「ラーニングセンター」がツールの使用法のアドバイスを表示します。

画像の作成および高度編集用のメインワークスペースとして、「フルエディター」は以下のツールバーを表示します。

- **効果** – 画像に効果を適用するためのコマンドが表示されます。
- **フォト** – 写真修整のためのコマンドが表示されます。
- **スクリプト** – スクリプトを作成 / 実行するためのコマンドが表示されます。
- **標準** – 既定でワークスペースの上部に表示され、画像の保存、元に戻す、切り取り、貼り付けなど、最も一般的なコマンドが表示されます。
- **状態** – 既定でワークスペースの下部に表示され、選択したツールの情報が表示されます。
- **ツール** – ペイント、ドロー、トリミング、テキストの入力などの画像編集タスクを実行するためのツールが含まれます。
- **Web** – Web用の画像を作成 / 保存するためのコマンドが表示されます。

ツールバーの表示 / 非表示を切り替えるには

フルエディター ワークスペース

- 「表示」▶「ツールバー」を選択して、表示または非表示にするツールバーを選択します。
メニュー内のツールバー名の横にあるチェック マークは、そのツールバーが表示されていることを示します。

ツールを使う



「エクスプレス ラボ」または「フルエディター」のツールを使用して、様々な画像編集とクリエイティブな作業を実行することができます。ポインタをボタンの上に置くと、ツールヒントにツールの名前とショートカット キーが表示され、ステータス バーにはツールの使用のヒントが表示されます。














「エクスプレス ラボ」には、画像をすばやくタッチアップするツールがあまり多くは付属していませんが、「フルエディター」には多くの高度な画像作成・編集ツールが付属しています。「フルエディター」には、ツールバー上に専用の領域を持つツールもあります（トリミング、移動、テキストなど）。しかしほとんどのツールは、似たタスクを実行するツール同士でグループ化されています。ツールのグループは、使用中のツールの右側の小さなポップアップ矢印で表されます。

















一部のツールはポップアップでグループ化されています。ポップアップの中のツールには、アクティブ ツールの横に表示されるポップアップ矢印をクリックすると、アクセスできます。


以下の表で、「フルエディター」のツールバーにある各ツールを説明します。これらのツールの一部は「エクスプレス ラボ」でも使用できます。

ツール	説明
 パン	画像の一部が画像ウィンドウからはみ出しているときに、画像ウィンドウに表示される画像の領域を移動できます。
 ズーム	クリックで拡大、右クリックで縮小します。ドラッグして拡大する領域を決定できます。

ツール	説明
 ピック	ラスター レイヤーを移動、回転、形状変更します。または、ベクタ オブジェクトを選択、変更します。
 移動	キャンバス上のラスター レイヤーまたはベクタ レイヤーを移動します。
 選択範囲	幾何学的な形状の選択範囲を作成します (矩形、楕円、三角形など)。
 自由選択	不規則な形状の選択範囲を作成します。
 自動選択	特定の許容レベル内のピクセル値を基準にして選択を行います。
 色の選択	前景 / 枠線の色 (左クリック) または背景 / 塗りつぶす色 (右クリック) を選択します。
 トリミングする	画像の不要なエッジをトリミングまたは消去します。
 傾き補正	傾いた写真を回転させて傾きを補正します。
 遠近補正	傾いたり不自然な角度が付いて見える建物などのオブジェクトの遠近を補正します。
 赤目	写真でよく見られる赤目をすばやく補正します。
 メイクオーバー	シミ修整、歯ブラシ、色の選択、日焼け、膨張の 5 つのモードで被写体に顔の見栄えをよくする修整を適用します。
 クローン	画像の別の部分で上から重ねてペイントすることで、傷やオブジェクトを除去することができます。
 スクラッチ除去	デジタル写真からシワや線などの線状の欠陥を除去したり、スキャンした写真からスクラッチを除去します。

ツール	説明
 オブジェクト除去	同じ写真内の隣接するテクスチャを使用して、写真の不要な要素にブラシをかけます。
 ペイント ブラシ	色、テクスチャ、グラデーションで画像をペイントします。
 エアブラシ	エアブラシやスプレーでペイントする効果を適用します。
 ライト/ダーク	ドラッグした領域を明るく（左クリック）したり、ドラッグした領域を暗く（右クリック）します。この効果は、「覆い焼き」、「焼き込み」ツールより強力です。
 覆い焼き	写真の領域を明るく（左クリック）したり、暗く（右クリック）します。
 焼き込み	写真の領域を暗く（左クリック）したり、明るく（右クリック）します。
 にじみ	クリック アンド ドラッグして、新しい色でピクセルをにじませます。または、右クリック アンド ドラッグして、新しい色なしでピクセルをプッシュします。
 プッシュ	クリック アンド ドラッグして、新しい色を選択せずにピクセルをプッシュします。または、右クリック アンド ドラッグして、新しい色を選択してピクセルをにじませます。
 ソフトネス	ドラッグしたピクセルをソフトに（左クリック）したり、ドラッグしたピクセルをシャープに（右クリック）します。
 シャープネス	ドラッグしたピクセルをシャープに（左クリック）したり、ドラッグしたピクセルをソフトに（右クリック）します。
 エンボス	ドラッグした色を抑え、端をトレースして、エンボス効果を作成します。

ツール	説明
 彩度	色を鮮やかにしたり（クリックしてドラッグ）、色の鮮やかさを減らします（右クリックしてドラッグ）。
 色相	ピクセルの色相を上げたり（クリックしてドラッグ）、下げます（右クリックしてドラッグ）。
 ターゲット	写真の細部を維持したままピクセルに色を付け直します。
 カラー消しゴム	クリックまたはドラッグすると背景/内部の色が前景/枠線の色に置き換えられ、クリックまたはドラッグすると前景/枠線の色が背景/内部の色に置き換えられます。
 消しゴム	ラスター レイヤーのピクセルを消去して透明にします。
 背景消しゴム	維持する領域のエッジの周囲を写真から消去します。
 塗りつぶし	類似した許容レベルのピクセルを塗りつぶします。塗りつぶしには、左クリックで現在の前景/枠線のマテリアルを使用し、右クリックで現在の背景/内部のマテリアルを使用します。
 カラー チェンジャー	このツールを使用して、元の色シェーディングと明度を保持したまま、写真内の要素の色を変更します。
 ピクチャ チューブ	ピクチャ チューブ（主題に基づくアーティストチックな要素）を画像に配置します。
 テキスト	画像にテキストを配置します。
 図形	あらかじめ定義された図形（吹き出し、矢印、星形など）を画像に追加します。

ツール	説明
 矩形	長方形または正方形を作成します。
 楕円	楕円または円を作成します。
 対称図形	対称または星型のオブジェクトを作成します。
 ペン	連結している線分、連結していない線分、フリーハンド曲線、ベジェ曲線の線分を描画します。
 ワープ ブラシ	写真内のピクセルを縮小、拡大、回転、歪ませます。
 メッシュ ワープ	点をオーバーレイ グリッドに沿ってドラッグして写真を歪ませます。
 油彩ブラシ	アートメディア レイヤーで油彩ブラシ ストロークを再現します。
 チョーク	アートメディア レイヤーでチョークの描画を再現します。
 パステル	アートメディア レイヤーでパステルの描画を再現します。
 クレヨン	アートメディア レイヤーでクレヨンの描画を再現します。
 色鉛筆	アートメディア レイヤーでカラー鉛筆の描画を再現します。
 マーカー	アートメディア レイヤーでインク マーカーの描画を再現します。
 パレット ナイフ	アートメディア レイヤーで（ブラシの代わりに）ナイフを使用した油彩ペイントを再現します。
 にじみ	アートメディア レイヤーに適用したすべての色素の種類をにじませます。

ツール

説明



アート消しゴム

アートメディアレイヤーに適用したすべての色素の種類を消去します。

Corel PaintShop Photo Pro を使用するにあたって


さまざまな方法で Corel PaintShop Photo Pro に画像を取り込むことができます。たとえば、デジタルカメラ、カードリーダー、スキャナなどから Corel PaintShop Photo Pro に画像を取り込んだり、デスクトップやハードドライブから画像をドラッグしたりできます。また、コンピューターの画面から画像をキャプチャーしたり、既存の画像やレイヤーを複製したり、新しい画像を作成することもできます。

このセクションでは以下について説明しています。

- Corel PaintShop Photo Pro に写真を取り込む
- 画像を開く / 閉じる
- 画像の保存
- 画像を削除する

Corel PaintShop Photo Pro に写真を取り込む

デジタル写真やスキャンした画像をさまざまな方法で Corel PaintShop Photo Pro に取り込むことができます。最も簡単で機能豊かな方法は Corel® Photo Downloader を使用する方法です。Corel Photo Downloader は Corel PaintShop Photo Pro X3 とともにインストールされます。

インストールすると、Corel Photo Downloader のアイコン  がシステムトレイに表示されます。カメラを接続したり、メモリカードをカードリーダーに挿入したり、写真が保存されている CD を挿入す


ると、写真が検出され、「Corel Photo Downloader」ダイアログボックスが表示されます。

Corel Photo Downloader を使用して写真を取り込むには

フル エディター ワークスペース

- 1 USB ケーブルを使用してカメラまたはカードリーダーをコンピューターに接続するか、写真が保存されている CD をコンピューターの CD ドライブに挿入します。

「Corel Photo Downloader」ダイアログボックスが開きます。

Corel Photo Downloader がアクティブであるかどうかを確認するには、システムトレイにあるアイコン  を調べます。

- 2 「Corel Photo Downloader で画像を転送」チェックボックスをチェックします。

- 3 次のいずれかのオプションを選択します。

- 常にダウンロードを自動的に開始
- 確認メッセージを毎回表示する

- 4 「OK」をクリックします。

少し待つと、進行状況を示すダイアログボックスが表示され、ダウンロード処理の詳細が表示されます。

- 5 最後の写真がダウンロードされると、次のいずれかを選択するように求められます。


- Corel PaintShop Photo Pro X3 の開始 — アプリケーションが実行されていない場合は起動します
- Corel PaintShop Photo Pro X3 エクスプレス ラボで写真をレビュー — ダウンロードした写真を「エクスプレス ラボ」モードで開きます
- 「Windows® エクスプローラで写真を表示」 — ダウンロードしたフォルダーを開き、写真のサムネイルを表示します

- ・「何もしない」－「Corel Photo Downloader」を終了します

6 「OK」をクリックします。



ダウンロード オプションを設定するには、「Corel Photo Downloader」ダイアログ ボックスの「オプション」をクリックし、「ダウンロード オプション」ダイアログ ボックスから目的のオプションを選択します。

また、システム トレイの「Corel Photo Downloader」アイコン  をクリックして「既定の設定」を選択するか、「ダウンロード オプション」ダイアログ ボックスで「既定の設定」ボタンをクリックして、既定の設定を作成することもできます。

動作

操作方法

画像の自動ダウンロード先の既定フォルダーを変更する

「参照」 ボタンをクリックして、新しいフォルダーを選択します。

写真をサブフォルダーにダウンロードし、サブフォルダーの日付の書式を指定する

「ダウンロードした画像のサブフォルダー名の書式」チェックボックスをチェックし、ドロップリストから日付の書式を選択します。

画像を開く / 閉じる

ほとんどの画像フォーマットを Corel PaintShop Photo Pro で開くことができます。メイン アプリケーション ウィンドウのメニュー バーを使用するか、オーガナイザーを使用して画像を開くことができます。

JPEG、TIF、PNG といった特定のファイル形式を

Corel PaintShop Photo Pro に関連付けることができます。ファイル形式の関連付けについては、ヘルプの「ファイルタイプの関連付けを設定する」を参照してください。RAW ファイルの詳細については、「カメラ RAW 写真を使った作業」の 61 ページを参照してください。

画像を開くには

フル エディター ワークスペース

- 1 「ファイル」▶「開く」を選択します。
- 2 「ファイルの場所」ドロップリストから、ファイルが保存されているフォルダーを選択します。
- 3 開くファイルの名前をクリックします。
複数のファイルを開く場合は、Ctrl キーを押したままファイル名をクリックします。
- 4 「開く」をクリックします。
RAW ファイルを開くと、画像がカメラ RAW ラボで開きます。

目的

画像の情報を表示する

「ファイルを開く」ダイアログボックスで、ファイル名をクリックし、「詳細」をクリックします。

プレビュー エリアにサムネイルを表示する

「ファイルを開く」ダイアログボックスで、「プレビュー表示」チェック ボックスをチェックします。


から画像を開くには オーガナイザー

- 1 オーガナイザー表示されていない場合は、「フル エディター」の作業領域の右上隅にある**オーガナイザー** ボタンをクリックします。
別のフォルダーのサムネイルを表示するには、オーガナイザーの左側にある「別のフォルダーを参照」をクリックし、表示される「フォルダーの参照」ダイアログ ボックスから、目的の画像が格納されているフォルダーを選択します。選択したフォルダーが「フォルダー」リストに表示されます。

- サムネイルをダブルクリックすると、画像が「フル エディター」に開かれます。

画像を閉じるには

フルエディター ワークスペース

- 「ファイル」▶「閉じる」を選択するか、画像ウィンドウのタイトルバーにある「閉じる」ボタン  をクリックします。

画像の保存

画像を保存する前に、どのファイル形式で保存するかを検討します。また、後で必要になる可能性があるため、元の画像は上書きしないようにします。

Corel PaintShop Photo Pro の PsplImage ファイル形式は、画像の作成に使用するレイヤー、アルファ チャンネルなどの機能に対応します。画像は「PsplImage」のファイル形式で保存ないし編集することをお勧めします。その後、ファイルを一般的なファイル形式に保存できます。また、ページ レイアウト アプリケーション、電子メール アプリケーション、Web ページ デザイン アプリケーションなどの別のアプリケーションで使用するために画像を最適化する場合は、「Office 用に保存」コマンドを使用します。

その他のファイル形式については、ヘルプの「画像の保存」を参照してください。

重要！ 「元の画像の自動保存」設定を使用すると、元の画像が上書きされないようにできます。既定では、この機能はオンになっています。編集前の元のファイルを閉じようとするたびに、ダイアログ ボックスに自動保存情報が表示されます。

新しい画像を保存するには

フルエディター ワークスペース

- 「ファイル」▶「保存」をクリックします。

「名前を付けて保存」ダイアログ ボックスが表示されます。

- 2 「**保存する場所**」ドロップリストから、ファイルの保存先フォルダーを選択します。
- 3 「**ファイル名**」フィールドにファイルの名前を入力します。
- 4 「**ファイルの種類**」ドロップリストでファイル形式を選択します。最も頻繁に使用される形式が最初に表示されます。
- 5 「**保存**」をクリックします。

目的

EXIF データを画像とともに保存する	「 オプション 」をクリックします。「保存オプション」ダイアログ ボックスで、「EXIF 情報の保存」チェック ボックスをチェックします。
---------------------	--

画像ファイルを圧縮する	「 オプション 」をクリックします。「保存オプション」ダイアログ ボックスで、「 圧縮 」グループ ボックスから圧縮オプションを選択します。ファイル形式が圧縮をサポートしていない場合、このオプションは使用できません。
-------------	--

作業を保存するには

フル エディター ワークスペース

- 「**ファイル**」▶「**保存**」をクリックします。

「元の画像の自動保存」設定が有効になっており、画像に加えた変更を初めて保存しようとしている場合は、編集前の元の画像のコピーを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。「元の画像の自動保存」が有効になっていない場合は、元の画像が変更後の画像で上書きされます。



「名前を付けて保存」コマンドを使用すると、現在のファイルが上書きされないようにできます。

画像を削除する

オーガナイザーで開いている画像ファイルを削除したり、オーガナイザーを使用して画像を削除することができます。オーガナイザー内の画像の画像の詳細については、「1 つ以上の画像を削除するには」の 52 ページを参照してください。

作業領域にある現在の画像を削除するには

フルエディター ワークスペース

- 「ファイル」▶ 「削除」をクリックします。

画像のプレビュー、整理、検索

オーガナイザーは、簡単に画像編集をプレビュー、整理、簡素化できる多機能デジタル画像管理機能です。

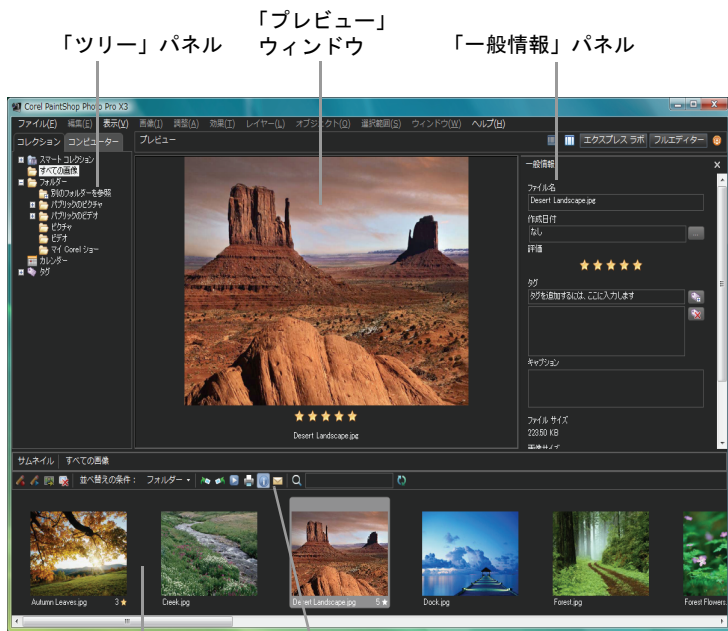
このセクションでは以下について説明しています。

- オーガナイザーを設定する
- コンピューターから画像を検索する
- 画像にキーワード タグを追加する
- タグが付けられた画像を検索する
- カレンダーを使用して画像を検索する
- フォルダーで画像を参照する
- オーガナイザーでサムネイルを表示する
- 編集をキャプチャーして複数の画像に適用する
- 画像情報を表示および編集する

オーガナイザーを設定する

Corel PaintShop Photo Pro を初めて起動すると、オーガナイザーが 4 枚のパネルと共にメイン作業領域として表示されます。ツリー、サムネイル、プレビュー ウィンドウ、一般情報 これらのパネルの詳細については、「オーガナイザー」の 20 ページを参照してください。



オーガナイザーの作業領域は、「プレビュー」または「サムネイル」を選択し、各パネルのサイズを変更し、デジタル ワークフローに合った表示の環境を選択することにより、特定のニーズ向けにカスタマイズできます。



「サムネイル」パネル オーガナイザーツールバー

オーガナイザー「プレビュー」モード

下記のモードを選択するには オーガナイザー

- オーガナイザーの右上隅にある下記のボタンを1つクリックします。
 - **プレビューモード**  - オーガナイザー 作業領域のメイン領域にプレビュー
 - **サムネイルモード**  - オーガナイザー 作業領域のメイン領域にサムネイルパネルを表示します

コンピューターから画像を検索する

オーガナイザーには、コンピューター内の画像を検索するための強力な方法が複数用意されています。単純なテキストベースの検索を行う、より高度な検索オプションを使用する、カレンダーを使用して特定の日付や日付の範囲に関連付けられた画像を検索するなどの機能によって、オーガナイザーは画像を検索するための作業を簡素化します。高度な検索のオプションの詳細については、ヘルプの「高度な検索機能を使用するには」を参照してください。

画像をすばやく検索するには

- 「オーガナイザー」 ツールバーの右側にある「**画像の検索**」テキストフィールドに、検索する文字列を入力します。


検索する文字列と一致するサムネイルがオーガナイザーに表示されます。

注意：検索する文字列には、ファイル名（拡張子を含む）、画像が保存されているフォルダーの名前（ドライブ文字を含む）、タグ、キャプションのテキスト、または画像のメタデータ（EXIF データまたは IPTC データ）を使用できます。

画像にキーワード タグを追加する

キーワード タグを使用すると、JPEG や TIFF 画像に、説明的で自然な言語の条件を割り当てることができます。「家族」、「子供」、「誕生日」などのタグを作成することで、特定の画像を簡単に特定できるようになるため、リストから目的のタグをクリックするだけで、タグに割り当てられたサムネイル画像をすばやく表示できます。画像にはタグをいくつでも作成して割り当てることができます。オーガナイザーには、タグを作成して割り当てする方法が複数あります。

タグ カタログにキーワード タグを追加するには

- 1 オーガナイザーの「ツリー」パネルの「コレクション」タブで、「タグ」の隣のプラスボタンをクリックして、タグ コントロールと使用可能なタグのリストを表示します。
- 2 「タグ」リストで、**タグを追加**ボタン  をクリックします。
「タグを追加」ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 タグのテキストを入力して「OK」をクリックします。
「ツリー」パネルの「コレクション」タブの「タグ」の下に、新しいタグがネストして表示されます。


タグ カタログからキーワード タグを削除するには

- 1 オーガナイザーの「ツリー」パネルの「コレクション」タブで、「タグ」の隣のプラスボタンをクリックして、タグ コントロールと使用可能なタグのリストを表示します。
- 2 「タグリスト」内のタグを右クリックし、「**削除**」を選択します。

1 つ以上の画像にキーワード タグを割り当てるには

- 1 オーガナイザーの「ツリー」パネルの「コレクション」タブで、「タグ」の隣のプラスボタンをクリックして、タグ コントロールと使用可能なタグのリストを表示します。
- 2 オーガナイザーの「サムネイル パネル」で、タグを割り当てる 1 枚または複数のサムネイルを選択します。
- 3 サムネイルを、選択したタグの上までドラッグします。



また、「一般情報」パネルの「タグ」セクションに各タグのテキストを入力し、テキスト フィールドの右側にある**タグを追加**ボタン  をクリックすることでも 1 枚または複数のタグを選択したサムネイルに割り当てることができます。

タグが付けられた画像を検索する

画像にタグを割り当てたら、タグをクリックするだけで画像を検索できるようになります。

タグが付けられたサムネイルを表示するには

- 1 オーガナイザーの「ツリー」パネルの「コレクション」タブで、「タグ」の隣のプラスボタンをクリックして、タグコントロールと使用可能なタグのリストを表示します。
- 2 タグリストのタグをクリックします。

そのタグが割り当てられている画像のサムネイルがオーガナイザーの「サムネイル」パネルに表示されます。




また、「オーガナイザー」ツールバーの右側にある「画像の検索」フィールドにタグを入力することもできます。タグのテキストを入力すると、オーガナイザーは直ちに検索結果をフィルタリングして、一致するサムネイル画像を表示します。

カレンダーを使用して画像を検索する

特定の日やその前後に作成された画像を検索したい場合があります。カレンダーの検索機能を使用すると、この作業が簡単になります。特定の日付で選択することも、日付の範囲を選択することもできます。画像の作成日がカレンダー上に強調表示されます。

カレンダーを使用して画像を検索するには

- 1 オーガナイザーの「ツリー」パネルの「コレクション」タブで、**カレンダーボタン**  をクリックします。

「カレンダーの検索」ダイアログボックスが表示されます。赤色で表示されている日付は、その日付に作成された画像を示します。

2 次のいずれかのオプションを選択します。

- 今日撮影された写真の場合は、「今日📷」ボタンをクリックします。
- 特定の日と月の場合は、「前の年」/「前の月」📅🌙 と「次の月」/「次の年」📅🌙 ボタンをクリックして、日付を選択します。
- 日付の範囲で検索する場合、「前の年」、「前の月」ボタンや「次の月」、「次の年」ボタンを使用して、年と月を選択して、Shift キーを押しながら範囲の最初の日付をクリックし、続いて最後の日付をクリックします。
- 連続していない複数の日付で検索する場合は、「前の年」、「前の月」ボタンや「次の月」、「次の年」ボタンを使用して年と月を選択し、Ctrl キーを押しながら日付をクリックします。

日付または日付の範囲をクリックすると、その日付または日付の範囲に作成された画像を表示するためにオーガナイザーが更新されます。

3 「閉じる」ボタンをクリックして「カレンダーの検索」ダイアログボックスを閉じます。

フォルダーで画像を参照する


オーガナイザーの「ツリー」パネルの「コレクションとコンピューター」タブでは、画像の整理と検索ができます。「コレクション」タブは、画像をグループ化/並べ替えするための仮想の物理的フォルダーのライブラリーです。「コンピューター」タブは、ハードドライブとデスクトップ上のすべてのフォルダーの完全なリストを表示します。「ツリー」パネル内のフォルダーを1つ選択すると、そのフォルダー内のすべての画像がオーガナイザーの「サムネイル」パネルに表示されます。

フォルダーにサムネイルを表示するには

- 1 オーガナイザーの「ツリー」パネルで、以下のいずれかのタブをクリックします。
 - **コレクション** – すでにカタログになっている画像の仮想フォルダーのリスト、またはコンピューターから選択したフォルダーのみを表示します。
 - **コンピューター** – コンピューター内のすべてのフォルダーと装置のリストを表示します。
- 2 フォルダーの隣のプラス記号をクリックして、そのフォルダーのサブフォルダーを表示します。
- 3 表示するサムネイルを保存しているフォルダーの名前をクリックします。

選択したフォルダー内のすべての写真またはビデオ ファイルのサムネイルが、オーガナイザーの「サムネイル」パネルに表示されます。

コレクションにフォルダーを追加するには

- 1 オーガナイザーの「ツリー」パネルの「コレクション」タブで、「フォルダー」リストの別のフォルダーを参照ボタン  をクリックします。

「フォルダーの参照」ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 表示する画像が含まれたフォルダーに移動して、「OK」をクリックします。

オーガナイザーの「ツリー」パネルの「コレクション」タブの「フォルダー」の下に、そのフォルダーが表示されます



また、コンピューター内に新しいフォルダーを作成するには、「フォルダーの参照」ダイアログ ボックスで「**新しいフォルダーの作成**」ボタンをクリックします。

カタログ化されたすべてのフォルダーを表示するには

- オーガナイザーの「ツリー」パネルの「コレクション」タブで、「すべての画像」フォルダーをクリックします。

オーガナイザーでサムネイルを表示する

オーガナイザーを使用すると、カメラからインポートした画像を1枚ずつ開くことなく、サムネイルモードで簡単にプレビュー/整理することができます。

画像をより大きく表示するには、「プレビュー」ウィンドウを使用する、サムネイルを拡大/縮小して表示する、またはフルスクリーンモードを使用します。また、サムネイルを並べ替え、回転、削除したり名前の変更をすることもできます。

さらに、オーガナイザーを使用すると、サムネイル表示した RAW ファイルを他のファイル形式に変換できます。詳細については、「RAW 写真を他のファイル形式に変換する」の 65 ページを参照してください。


「プレビュー」ウィンドウ内の画像をプレビューするには

- オーガナイザーのサムネイルパネルで、画像サムネイルをクリックします。
画像がオーガナイザーのプレビューウィンドウ内で表示されます。


目的

キーボードを使用して、「プレビュー」ウィンドウ内の前の、または次の画像を表示する	左矢印または右矢印キーを押します。
フルスクリーンモードで画像をプレビューする	ヘルプの「クイック レビューを使用する」を参照してください。

「オーガナイザー プレビュー」ウィンドウを更新するには

- オーガナイザーのツールバーの「表示の更新」ボタン  をクリックする。

サムネイルを拡大または縮小するには

- 1 オーガナイザーが「サムネイル」モードになっていない場合は、オーガナイザーの右上隅の「サムネイル」モードボタン  をクリックします。
- 2 オーガナイザーツールバーで、「ズーム」スライダを左にド移動すると縮小され、右に移動すると拡大されます。




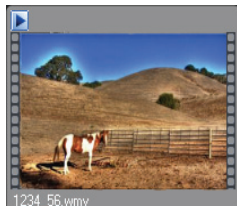
オーガナイザーが「プレビュー」モードになっている場合には、「ズーム」スライダは使用できません。

サムネイルを並べ替えるには

- 1 オーガナイザー ツールバーで、「並べ替えの条件」ドロップリストをクリックします。



サムネイルからビデオを再生するには

- オーガナイザーの「サムネイル」パネルで、ビデオ ファイルのサムネイルを選択し、サムネイルの「再生」ボタン  を押します。



ビデオ サムネイルの例

1 つ以上の画像を回転するには

- 1 回転させる画像のサムネイルを 1 つまたは複数選択します。
- 2 オーガナイザーツールバーで、次のいずれかのボタンをクリックします。
 - 「右に回転」 — サムネイルを時計回りに 90 度回転します
 - 「左に回転」 — サムネイルを反時計回りに 90 度回転します

1 つ以上の画像を削除するには

- 1 オーガナイザーの「サムネイル パネル」で、1 枚または複数のサムネイルを選択し、「削除」を押します。
- 2 「はい」をクリックすると、画像はごみ箱に移動します。

オーガナイザー内のファイルの名前を変更する

- 1 名前を変更するサムネイルを右クリックし、「名前の変更」を選択します。

「ファイル名の変更」ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 新しいファイル名前を入力して、「OK」をクリックします。

編集をキャプチャーして複数の画像に適用する


画像を並べ替える場合、複数の画像を開いてすばやく、あるいは高度に編集できます。ある画像に対して行ったすべての変更を選択し、それらをサムネイル モードで他の画像にいくらかでも適用することができます。

画像の編集をキャプチャーするには

- 1 画像の編集が終了したら、**ファイル ▶ 保存**を選択します。
- 2 次のいずれかの操作を行ってオーガナイザーに戻ります。

- フル エディターの右上隅にある**オーガナイザー**をクリックします。
- エクスプレス ラボの右下隅にある「**エクスプレス ラボの終了**」をクリックします。

編集をキャプチャーするサムネイルがオーガナイザーの「サムネイル」パネルで選択されていることを確認します。

- 3 **オーガナイザーツールバーの編集のキャプチャー**  ボタンをクリックします。

画像の隣のサムネイルに鉛筆アイコンが表示され、編集がキャプチャーされたことを示します。




プログラムを閉じると、キャプチャーされたすべての編集が自動的に削除されます。

キャプチャーした通常のファイルの編集を RAW ファイルに適用することも、その逆にキャプチャーした RAW ファイルの編集を通常のファイルに適用することもできません。



選択したサムネイルを右クリックし、**編集のキャプチャー**を選択することによって編集をキャプチャーすることもできます。

キャプチャーした編集を画像に適用するには

- 1 キャプチャーした編集を適用するファイルが閉じていることを確認します。
- 2 オーガナイザーの「サムネイル」パネルで、キャプチャーした編集を適用する画像のサムネイルを選択します。
- 3 オーガナイザーツールバーの**編集の適用**  ボタンをクリックします。

確認ダイアログ ボックスが表示され、変更を取り消すことはできないことを警告します。

- 4 確認ダイアログ ボックスの OK をクリックします。

進行状況を示すダイアログが表示され、適用されている編集のリストが表示されます。

RAW ファイルに対しては、「カメラ RAW ラボ」ダイアログ ボックスの**画像設定を保存するオプション**を有効にしている場合、「カメラ RAW ラボ」ダイアログ ボックスで選択した調整も適用されます。

- 5 進行状況ダイアログ ボックスの OK をクリックします。




現在のセッションでキャプチャーした編集のみを、閉じているファイルのみに適用することができます。プログラムを閉じると、キャプチャーされたすべての編集が自動的に削除されます。

キャプチャーした通常のファイルの編集を RAW ファイルに適用することも、キャプチャーした RAW ファイルの編集を通常のファイルに適用することもできません。


画像情報を表示および編集する

オーガナイザーの「一般情報」パネルからは、画像のファイル名、サイズ、作成日など画像に関する情報や、デジタル写真メタデータを表示、追加、編集できます。写真にキャプションを追加したり、星の評価を適用することもできます。画像情報を追加または更新しておく、画像の整理や検索が容易になります。たとえば、説明的なキャプションを追加すると、キャプションのテキストを入力して、その画像を検索できるようになります。

「一般情報」パネルを表示 / 非表示にするには

- オーガナイザーツールバーの「画像情報」ボタン  をクリックします。既定では「一般情報」パネルが開きますが、必要な作業領域の広さによって表示 / 非表示に設定できます。

1 つ以上の画像に評価を割り当てるには

- 1 オーガナイザーの「サムネイルパネル」で、1 枚または複数のサムネイルを選択します。
「一般情報」パネルが開いていない場合には、オーガナイザーツールバーの画像情報ボタン  をクリックして表示します。
- 2 「一般情報」パネルの「評価」フィールドで、画像に割り当てる星の順番の最後の星をクリックします。たとえば、5 つ星の評価を当てる場合には、右端の星をクリックすればすべての星が選択されます。

画像の評価を削除するには

- オーガナイザーの「サムネイル」リストの画像サムネイルを右クリックし、評価を選択し、現在画像に割り当てられている星の数を選択します。たとえば、3 つ星の画像の評価を削除するには、評価 ▶ * * * (3 つ目の星) を選択します。

1 つ以上の画像にキャプションを追加するには

- 1 オーガナイザーの「サムネイルパネル」で、1 枚または複数のサムネイルを選択します。
オーガナイザーの「一般情報」パネルは、最後に選択した画像の情報を表示します。
- 2 「一般情報」パネルの「キャプション」フィールドで、テキストボックスの内側をクリックし、適用するキャプションを入力します。

エクスプレス ラボを使用する

デジタルカメラを使用すると、たくさんの写真を楽しく簡単に撮影できます。しかし、それらの写真のすべてを編集する場合はもちろんのこと、レビューするだけでも面倒な作業になることがあります。新しいエクスプレス ラボを使用すると、このような作業も楽しいものになります。トリミング、傾き補正、色補正、シミの除去や赤目の補正などの基本的な補正を行うことができます。星のレートを適用したり、写真を削除することもできます。数枚の写真を選択して細かな編集作業を行う前に、この簡易編集モードを使用してすばやく写真をピックアップできます。

エクスプレス ラボを使用する理由

エクスプレス ラボからは、Corel PaintShop Photo Pro X3 で最もよく使用されるツールや機能にすばやくアクセスできます。メニューに戻ったり、ツールバーやパレットから探さなくても済むように、画面上にコントロールが用意されています。

このセクションでは以下について説明しています。

- エクスプレス ラボの起動
- エクスプレス ラボの基本を理解する
- エクスプレス ラボの写真の取り込み
- エクスプレス ラボを終了する

エクスプレス ラボの起動

エクスプレス ラボはオーガナイザーまたはフル エディターから起動します。

オーガナイザーからエクスプレス ラボを起動するには

オーガナイザー ワークスペース

- 1 つの画像サムネイルを選択します。
- 次のいずれかの操作を行います。
 - 作業領域の右上隅にある**エクスプレス ラボ**ボタンをクリックします。
 - **表示 ▶ エクスプレス ラボ**を選択します。作業中の画像がエクスプレス ラボに表示されます。



メインアプリケーションウィンドウで画像が開かれていない場合でも、エクスプレス ラボを使用することができます。作業する写真を開くには、エクスプレス ラボで「**画像の取り込み**」ボタンをクリックします。

フル エディターからエクスプレス ラボを起動するには

フル エディター ワークスペース

- 1 メディアトレイでサムネイルを選択します。
 - 作業領域の右上隅にある**エクスプレス ラボ**ボタンをクリックします。
 - **編集 ▶ エクスプレス ラボ**を選択します。作業中の画像がエクスプレス ラボに表示されます。

エクスプレス ラボの基本を理解する

エクスプレス ラボモードは、Corel PaintShop Photo Pro 中のミニアプリケーションのように動作し、写真の編集、表示、管理を行うときによく使用されるツール セットにアクセスできるようにします。これらのツールは現在の画像の真下に表示され、ツールの設定はエクスプレス ラボの右側に表示されます。作業する写真が含まれるフォルダーを選択した後は、エクスプレス ラボで「次へ」および「戻る」ボタンを使用して、写真の間を移動できます。

「エクスプレス ラボ」内のツールの詳細については、ヘルプの「エクスプレス ラボを使用する」を参照してください。



エクスプレス ラボに表示された写真

エクスプレス ラボの写真の取り込み

エクスプレス ラボに最初に表示される画像は、エクスプレス ラボモードの起動方法によって異なります。エクスプレス ラボを起動してから、「画像の取り込み」ボタンを使用すると、画像フォルダーを簡単にロードできます。ツールの下にサムネイルが表示され、リストの最初の画像が自動的に表示されます。

エクスプレス ラボに写真をロードするには

エクスプレス ラボ ワークスペース

- 1 「**画像の取り込み**」をクリックします。
「画像の取り込み」ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 ロードする画像があるフォルダーに移動します。
 - 「**フォルダー**」 – 標準の階層リストを使用してコンピューターにあるフォルダーを選択するには、このタブをクリックします。
 - 「**オーガナイザー**」 – オーガナイザーを使用してフォルダーを選択するには、このタブをクリックします。
- 3 「**OK**」をクリックすると、選択したフォルダーからエクスプレス ラボに画像がロードされます。

エクスプレス ラボを終了する

いつでもエクスプレス ラボを終了して、メイン ワークスペースに戻ることができます。

エクスプレス ラボを終了するには

エクスプレス ラボ ワークスペース

- エクスプレス ラボウィンドウの右上隅にある「**終了**」エクスプレス ラボボタンをクリックします。
現在の写真を編集し、まだ保存していない場合は、保存するようにメッセージが表示されます。

カメラ RAW 写真を使った作業

すべての DSLR カメラに付いている RAW モードでは、撮影した写真の「現像」プロセスをコントロールできます。

Corel PaintShop Photo Pro のカメラ RAW ラボは、RAW ファイル作業用の完璧なデジタル暗室です。

RAW 写真を撮影すると、その写真には処理する多くのデータが含まれます。RAW 写真は 12 ビットまたは 14 ビットの画像で、明るさを 16,384 レベルまで構成できます。これを、256 の明るさレベルを持つ標準の 8 ビット JPG 写真と比較してみてください。カメラはホワイトバランス、温度、および飽和設定などの情報を記録しますが、それらはヘッダーファイルに保存されます。写真自体は加工されたり圧縮されたりしませんので、写真のネガのように自分の好みに従って現像できます。カメラ RAW ラボで RAW 画像を処理した後で、読み取り専用の RAW ファイルとして残すことができます。あるいは、書き込み可能な編集用の JPEG、GIF、または PNG ファイルとしてエクスポートすることもできます。

このセクションでは以下について説明しています。

- サポートされる RAW ファイル形式
- カメラ RAW ラボを使用する
- 編集を複数の RAW 写真へ適用する
- RAW 写真を他のファイル形式に変換する

サポートされる RAW ファイル形式

サポートされているカメラ モデルと RAW ファイル形式の最新のリストについては、www.corel.jp を参照してください。

サポートされる RAW ファイル形式を見つけるには

- 1 www.corel.jp にアクセスします。
- 2 [corel.jp](http://www.corel.jp) のウェブページで、「サポート」をクリックします。
- 3 サポートのページで、「FAQ・メールフォーム」をクリックします。
- 4 「製品別検索」ドロップリストから「PaintShop Pro」を選択します。
- 5 「テキストを検索」ボックスに、RAW を入力します。
関連する FAQ・メールフォームの記事が表示されます。

カメラ RAW ラボを使用する

カメラ RAW ラボは、RAW 画像の現像に適用するさまざまな設定を提供します。オーガナイザーまたはフルエディター内の 1 つあるは複数の RAW 画像をダブルクリックすると、カメラ RAW ラボが自動的に起動し、画像がラボにロードされます。



カメラRAW ラボダイアログボックス

RAW 写真の設定を調節するには

- 1 オーガナイザーまたはフルエディターから、次のいずれかを実行します。
 - RAW 写真サムネイルをダブルクリックします。
 - 「ファイル」▶「開く」をクリックし、RAW ファイルを選択します。
 - RAW 写真を作業画面にドラッグします。カメラ RAW ラボが開き、画像がラボダイアログボックスに自動的にロードされます。
- 2 希望する結果が得られるように、写真の設定を調節します。
写真の変更はプレビュー ウィンドウでプレビューできます。


注意：選択した設定が写真を開くたびに適用されるように保存するには、「**画像設定を保存する**」チェックボックスをチェックします。設定はRAW ファイルヘッダーに保存されます。

- 3 次のいずれかをクリックします。
 - **「リセット**」 – 設定を元の値にリセットします
 - **編集** – 設定を適用し、写真をフルエディターで開きます。RAW 写真を編集する場合は、その写真を TIFF、PSD、またはその他の書き込み可能なファイル形式で保存する必要があります。
 - **適用** – 設定を適用し、カメラ RAW ラボを終了します。
 - **キャンセル** – 写真の設定を調節せずにカメラ RAW ラボを終了します。


編集を複数の RAW 写真へ適用する

写真家は頻繁に多数の写真を整理したり処理したりする必要があります。特に DSLR カメラを使用している場合には、複数の写真に類似の処理を行うことがあります。Corel PaintShop Photo Pro を使用すれば、1 枚の RAW 写真の編集を素早く他の写真に適用できます。

編集をキャプチャーするには

- 1 オーガナイザーで、編集をキャプチャーする RAW 写真のサムネールを選択します。
- 2 「オーガナイザー」ツールバーで、「**編集のキャプチャー**」 ボタンをクリックします。


キャプチャーした編集を適用するには

- 1 オーガナイザーのサムネイルパネルで、キャプチャーした編集を適用する RAW 画像のサムネイルを選択します。
- 2 「オーガナイザー」ツールバーで、「**編集の適用**」 ボタンをクリックします。

RAW 写真を他のファイル形式に変換する

RAW 写真フォーマットは読み取り専用であり、RAW ファイルの設定は別のヘッダーファイルとして保存されます。カメラ RAW ラボで調節できるのはこれらの設定です。さらに進んで写真を編集するには、RAW ファイルをフルエディターまたはエクスプレスラボに入れる必要があります。作成した編集を保存するには、RAW ファイルを他のフォーマットで保存する必要があります。また、写真の使い方によっては、RAW ファイルをその他のファイルタイプに変換する必要があります。ファイルを変換するには、オーガナイザーの「RAW を変換」ボタンを使用します。

RAW ファイルをその他のファイルタイプに変換するには

- 1 オーガナイザーで、変換する RAW ファイルのサムネイルを選択します。
- 2 「オーガナイザー」ツールバーで、「RAW を変換」 ボタン をクリックします。

画像を調整する

Corel PaintShop Photo Pro で写真を表示すると、補正したい問題に気づくことがあります。写真によっては、被写体が暗すぎる、というように問題がはっきりしている場合があります。また、写真によっては、改善の必要を感じても、何を修整すればいいのかわからない場合もあります。Corel PaintShop Photo Pro を使用すると、写真の特定の外観の修整、またはプログラムによる基本的な写真調整をすることができます。

このセクションでは以下について説明しています。

- 画像を回転する
- 画像をトリミングする
- 画像の傾きを補正する
- 基本的な写真補正を自動的に実行する
- デジタル カメラ ノイズを取り除く
- 段階露出した写真を結合する
- 明るさとコントラストを調整する
- 色相と彩度を調整する
- 被写界深度を制御してフォーカス エリアを作成する

アプリケーションで利用可能な調整機能の一覧については、「画像を調整する」を参照してください。

画像を回転する

画像を 90 度回転させ、その方向を横（水平）または縦（垂直）に変えることができます。縦置き方向で撮影した写真にタグを付けるセンサーがカメラに備わっている場合、写真は自動的に正しい方向に回転されます。



Corel PaintShop Photo Pro で画像を回転できます。

画像は回転角度を指定することでどのような角度にも回転させることができ、キャンパス上で動的に回転させることもできます。画像内の基準ポイント（水平軸など）に従って画像の傾きを補正するための回転の詳細については、「画像の傾きを補正する」の 71 ページを参照してください。また、オーガナイザーを使用すると、元の画像データをすべて維持したまま、画質を劣化させずに JPEG 画像を回転させることができます。

画像を回転するには

フル エディター ワークスペース

- 画像を選択し、次の表にあるタスクを実行します。


動作

画像を時計回りまたは反時計回りに 90 度回転する



操作方法

「画像」▶「右に回転」、または「画像」▶「左に回転」を選択します。

画像を動的に回転する

ツールバーで、「ピック」ツール  を選択します。回転ハンドル（回転軸と線で結ばれている四角）をドラッグします。ポインタを回転ハンドルの上に置くと、ポインタが2本の曲がった矢印の形に変わります。



標準ツールバーの「右に回転」  または「左に回転」  をクリックして画像を回転することができます。

画像をトリミングする

画像の構図を明確にしたり、画像内の特定の領域に注目してもらうために、画像内の不要な部分を削除することができます。

Corel PaintShop Photo Pro には、よく使用される画像サイズの設定（4 × 6 インチ、10 × 15 センチなど）が用意されており、トリミングに便利です。

トリミングすると、画像の保存に必要なハードディスク容量が減ります。また、余分な色がある領域をトリミングによって除去すると、色補正の結果が向上する場合があります。トリミングと色補正の両方が必要な写真の場合は、まず画像をトリミングしてから、色補正を適用してください。



「トリミング」ツールのフロート
ツールバー

重要！ トリミング矩形外の画像領域は完全に削除されます。元の写真を残しておくには、「名前を付けて保存」コマンドを使用して、トリミング後の画像を新しいファイル名で保存します。

画像をトリミングするには


フルエディターワークスペース

- 1 ツールバーで、「トリミング」ツール  を選択します。



既定では、画像にトリミング矩形が表示され、トリミング矩形の外側が陰影になります。

- 2 いずれかのハンドルまたは端をドラッグして、トリミング領域のサイズを調整します。トリミング矩形の位置を変更するには、矩形内にカーソルを置いてドラッグします。

「トリミング」ツールのフロート ツールバーにある「設定」ドロップリスト、または「ツール オプション」パレットにあるドロップリストからオプションを選択すると、あらかじめ用意されているトリミングサイズを使用できます。

- 3 画像をトリミングする準備が完了したら、「ツール オプション」パレットまたは「トリミング」ツールのフロート ツールバーにある「適用」ボタン  をクリックします。

目的

マウス、またはキーボードでトリミングを適用する	トリミング領域の内側でダブルクリックするか、Enter を押します。
「ツール オプション」パレットでトリミング矩形のサイズを設定する	「幅」、「高さ」、および「単位」コントロールに値を設定/入力します。
トリミング領域の現在の縦横比率を保持する	「ツール オプション」パレットで「縦横の比率を維持する」チェックボックスをチェックします。このオプションは、カスタム定義のトリミング領域にのみ使用できます。
トリミング領域を 90 度回転させる	フロート ツールバーにある「トリミング矩形の回転」ボタン  をクリックします。
トリミング矩形を自由に回転させる	回転ハンドルの端にある四角形をドラッグします。この機能は、歪んでスキャンされた写真を傾き補正してトリミングする場合に便利です。
トリミング領域をクリアする	「トリミング」ツールのフロート ツールバーにある「クリア」ボタン  をクリックします。

画像の傾きを補正する



傾き補正バーを画像に合わせて置くことで、傾いた画像を簡単にまっすぐにすることができます。Corel PaintShop Photo Pro は、傾き補正バーが完全に水平および垂直になるように画像を回転します。この機能は、画像内に水平/垂直の対象物（ビルや水平線など）がある場合に、特に便利です。



「傾き補正」ツールを使用して、画像内に傾き補正バーを配置できます。

画像の傾きを補正するには

フル エディター ワークスペース

- 1 ツールバーで、「傾き補正」ツール  を選択します。
両端にハンドルを持った傾き補正バーが画像上に表示されます。
- 2 傾き補正バーのハンドルをドラッグして、まっすぐにする画像の一部と平行になるように調整します。
- 3 「ツール オプション」パレットで、「モード」ドロップリストから次のオプションを選択します。
 - 「自動」－ 傾き補正バーの位置に基づいて画像の傾きを自動的に補正します。
 - 「垂直にする」－ 傾き補正バーが垂直になるように画像を回転します。
 - 「水平にする」－ 傾き補正バーが水平になるように画像を回転します。
- 4 「適用」ボタン  をクリックします。

目的

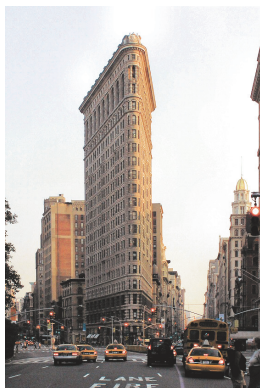
傾き補正バー用に特定の角度を選択する	「ツール オプション」パレットの「 角度 」コントロールに値を入力/設定します。
傾きを補正した後に 画像が矩形になるようにトリミングする	「ツール オプション」パレットの「 トリミング 」チェック ボックスをチェックします。
画像の端の部分の部分を背景色で塗りつぶす	「ツール オプション」パレットの「 トリミング 」チェック ボックスのチェックを外します。



画像をダブルクリックしてコマンドを適用することもできます。

基本的な写真補正を自動的に実行する

写真にどのような調整が必要かがわからない場合は、「自動修整」コマンドまたは「スマート修整」コマンドを適用して結果を確認できます。「自動修整」コマンドは、カラー バランスやシャープ化などあらかじめ定義された修整を写真に自動的に適用します。コマンドを選択するだけで、修整を実行できます。修整を適用する前に修整を微調整するオプションが必要な場合は、「スマート修整」コマンドを使用できます。



「自動修整」コマンドを使用すると、画像の露出やカラーバランスをすばやく容易に改善できます。

「自動修整」を使用して基本的な修整を適用するには

フル エディター ワークスペース

- 「調整」▶「自動修整」を選択します。

少し待つと、いくつかの基本的な修整が写真に適用されます。



適用される修整は、「スマート修整」機能で推奨された設定を受け入れた場合に適用される修整と同じです。

「スマート修整」を使用して基本的な修整を微調整するには

フル エディター ワークスペース

- 1 「調整」▶「スマート修整」を選択。

「スマート修整」ダイアログ ボックスが表示されます。ダイアログ ボックス上部の「変更前」ペインには、元の写真が表示されます。「変更後」ペインには、推奨される基本調整を適用した後の写真の状態が表示されます。

- 2 次の表の作業を行って、「OK」をクリックします。

動作

操作方法

写真を明るく / 暗くする

「明るさ」グループ ボックスで、「全体」、「シャドウ」、および「ハイライト」の各コントロールに値を入力 / 設定するか、それぞれのスライダーで調整します。

注意：正の値を設定をすると写真が明るくなり、負の値を設定すると写真が暗くなります。

彩度を増加 / 減少する


「彩度」コントロールに値を入力 / 設定するか、スライダーを調整します。

注意：正の値に設定すると写真の鮮やかさが増加し、負の値に設定すると鮮やかさが減少します。

写真の端をシャープにする

「フォーカス」コントロールに値を入力 / 設定するか、スライダーを調整します。



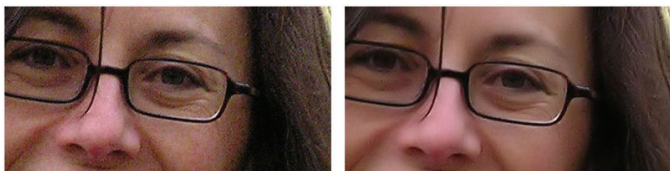
すべての設定を初期値にリセットするには、「推奨設定」をクリックします。空の設定にリセットするには、「既定値に戻す」ボタン  をクリックします。

「スマート修整」機能の詳細設定を使用するには、「詳細オプション」チェック ボックスにチェックを付けます。詳細については、ヘルプの「スマート修整の詳細オプションを使用するには」を参照してください。

デジタル カメラ ノイズを取り除く

写真における「ノイズ」とは、画像の明瞭感を低下させる小さな斑点を指します。この斑点は、通常、照明不足またはデジタル カメラのセンサの限界が原因で発生します。たとえば、澄んだ青空の写真を拡大すると、オレンジ、赤、パープル、緑などの色の小さな斑点に気づくことがあります。

Corel PaintShop Photo Pro には、写真からノイズを取り除くために、「自動ノイズ除去」と「デジタル カメラ ノイズの除去」という 2 つの高速で強力なコマンドが用意されています。



左側の画像はデジタル カメラ ノイズのためざらついて見えます。右側の画像は、ノイズが除去された後で、より滑らかでざらつきが少なく見えます。

「自動ノイズ除去」コマンドを使用すると、写真にノイズ補正を自動的に適用できます。より総合的な「デジタル カメラ ノイズの除去」コマンドを使用して、同様の補正をどのように適用するかをより正確に制御することもできます。詳細については、ヘルプの「デジタル カメラ ノイズの除去の詳細オプションを使用するには」を参照してください。

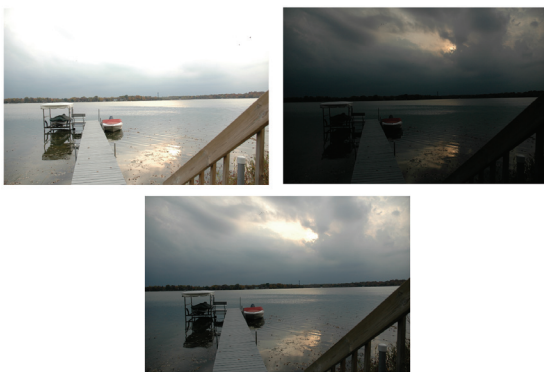
デジタル カメラのノイズをすばやく取り除くには

フル エディター ワークスペース

- 「調整」▶「自動ノイズ除去」を選択します。
少し待つと、ノイズが自動的に取り除かれます。

段階露出した写真を結合する

多くのデジタルカメラは「段階露光」機能を備えており、数秒間に複数の露出で写真を撮影できます。「HDR 写真結合」コマンド（HDR はハイダイナミックレンジの略）を使用すると、段階露出した何枚かのデジタル写真から最適な要素を組み合わせて1枚の写真に結合できます。この機能は、日没、明るい窓を含む室内など、コントラストの強い風景に対して特に有効です。



「HDR 写真結合」コマンドは、段階露出した複数の写真に含まれる最適な要素を組み合わせて1枚の理想的な写真（下）を作成します。

通常は、三脚を使用し、できる限り絞り値ではなくシャッター速度を調整すると最適な結果を得ることができます。画面に動く被写体を入れないこともよい結果につながります。

段階露出した写真を結合するには

フルエディターワークスペース

- 1 「ファイル」▶「HDR 写真結合」を選択します。

「HDR 写真結合」ダイアログボックスが表示されます。

- 2 「**画像のロード**」グループボックスで、「**参照**」をクリックします。

「HDR 写真結合を開く」ダイアログボックスが表示されます。

注意：「HDR 写真結合」コマンドは、現在ワークスペースに開かれている画像を使用しません。

- 3 これから結合する段階露出した写真を含むフォルダーに移動します。リスト内で隣接する複数の写真を選択するには、Shift キーを押しながらかlickします。隣接しない複数の写真を選択するには、Ctrl キーを押しながらかlickします。

- 4 「**開く**」をクリックします。

選択した写真は、「HDR 写真結合」ダイアログボックスにロードされます。

- 5 ロードされた写真を確認して、結合に使用する写真を決定します。この処理から写真を除外するには、サムネイルの下のチェックボックスをオフにします。

- 6 「**画像の整列**」をクリックします。

各写真のピクセル データが他の写真のピクセル データと整列されます。この手順に必要な時間は、ロードした写真の数によって異なります。

- 7 「**調整**」グループボックスにある次のコントロールを設定します。

- 生成される写真の全体的な明るさを調整するには、「**明るさ**」スライダーをドラッグします。
- 生成される写真の全体的な明確度を調整するには、「**ローカル トーン マッピング**」スライダーをドラッグします。
- 選択した写真に基づいて自動調整を適用するには、「**推奨設定**」をクリックします。

新しい設定は、ダイアログボックスの上部の「**プレビュー**」領域に反映されます。

- 8 生成される写真を 16 ビットの画像にするには、「**画像の整列**」ボタンの隣にある「**16 ビット画像の作成**」チェック ボックスを チェックします。
- 9 「OK」をクリックします。



最小 2 枚、最大 9 枚の写真を読み込めます。

ロードされた写真は、露出値 (EV) に基づいて暗い写真から順に並べられます。各写真の EV 設定は、サムネイルの下に表示されます。

「**撮影日時に基づいて自動選択**」チェック ボックスを チェックし、「**時間の範囲 (秒単位)**」スライダーを使用できます。このコントロールを使用すると、指定した秒数内に撮影された写真を自動的に選択できます。

明るさとコントラストを調整する

Corel PaintShop Photo Pro では、写真の明るさとコントラストを調整できます。コントラストとは、写真の最も明るいピクセルと最も暗いピクセルの差です。

明るさまたはコントラストを変更するには

フル エディター ワークスペース

- 1 「調整」▶「明るさとコントラスト」▶「明るさ/コントラスト」を選択します。

「明るさ/コントラスト」ダイアログ ボックスが表示されます。

- 2 「明るさ」コントロールに値を入力/設定します。

正の数値は写真を明るくし、負の数値は写真を暗くします。0 は元の設定を意味します。

3 「コントラスト」コントロールに値を入力 / 設定します。

正の数値はコントラストを強め、負の数値はコントラストを弱めます。0 は元の設定を意味します。

4 「OK」をクリックします。



ダイアログ ボックス内のズーム コントロールを使用して、「変更前」および「変更後」ペインの画像の表示方法を設定できます。

深度とフォーカスを強調するには

フル エディター ワークスペース

1 「調整」▶「明るさとコントラスト」▶「ローカル トーン マッピング」を選択します。

「ローカル トーン マッピング」ダイアログ ボックスが表示されます。

2 「強度」コントロールに値を入力 / 設定します。

満足できる結果が得られる最小の値を設定してください。値が大きすぎると、写真に不要なノイズが現れます。

3 「OK」をクリックします。



ダイアログ ボックス内のズーム コントロールを使用して、「変更前」および「変更後」ペインの画像の表示方法を設定できます。

色相と彩度を調整する

デジタル画像では、彩度を高くすると画像は鮮烈になりますが、彩度が高すぎると色が歪んでしまい、スキントーンが不自然になるなどの問題が生じます。「自然な彩度」コントロールを使用すると、画像の他の領域に影響を与えることなく、彩度が低い部分の彩度のみ

を調整することができます。たとえば、スキントーンを大きく変えることなく画像の低彩度な部分の色を強めることができます。

画像の最も低彩度の部分の色を強めるには

フルエディター ワークスペース

- 1 「調整」 ▶ 「色相と彩度」 ▶ 「自然な彩度」 を選択します。

「自然な彩度」 ダイアログ ボックスが表示されます。

- 2 「プレビュー」 の隣の矢印をクリックして「プレビュー」 パネルを開きます。

画像の結果を直接プレビューするには、「画像のプレビュー」 チェック ボックスにチェックを入れます。

- 3 「強度」 スライダーを調整します。

スライダーを右にドラッグすると、彩度の高い色を変更することなく最も低彩度の色の彩度が増加し、左にドラッグすると彩度が減少します。

値は -100 から +100 までの範囲です。0 は画像の元の設定を意味します。

- 4 「OK」 をクリックします。

被写界深度を制御してフォーカス エリアを作成する

フォーカス エリアを作成して、写真の被写体に注意を引き付けることができます。たとえば、花畑の中に人物が写っている写真では、人物にピントを合わせたまま、周囲の花にピンぼけ効果（ぼかし）を適用できます。写真技術では、被写界深度を制御することで、この効果を適用できます。



被写界深度効果を適用して、写真の被写体に注意を引き付けることができます。

フォーカス エリアを選択する

Corel PaintShop Photo Pro では、円形または矩形の選択範囲を作成して、フォーカス エリアをすばやく選択できます。また、領域の周囲をトレースして不規則な形の選択範囲を作成できます。選択範囲を反転することもできます。選択範囲の詳細については、「選択範囲を作成する」の 101 ページを参照してください。

ぼかし領域を調整する

選択範囲外の領域に適用されたぼかしの量を制御したり、フォーカス エリアとぼかし領域の境界を調整できます。

Corel PaintShop Photo Pro では、円形絞りまたは六角形絞りを選択できます。絞りの形は、フォーカス エリア外に現れるライトパターンに影響する場合があります。この効果は「ぼけ」と呼ばれ、暗い背景の中の小さなピンポイントライトに最もよく現れます。

「被写界深度」効果を使用してフォーカス エリアを作成するには

フル エディター ワークスペース

- 1 フル エディターで、焦点を合わせる領域を選択します。
画像の領域の選択に関する詳細については、「選択範囲を作成する」の 101 ページを参照してください。
- 2 メニューから、「調整」▶「被写界深度」を選択します。
「被写界深度」ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 「ぼかし」スライダーを移動して、フォーカス エリア外に適用されるぼかしの量を調整します。



目的

選択領域を反転する

「反転」チェック ボックスを
チェックします。

ぼかし領域の絞りの形を制御
する

次のいずれかのボタンをクリック
します。

- 円形の絞りの形 
- 六角形の絞りの形 

フォーカス エリアとぼかし領域
の境界を調整する





「境界ぼかし」スライダーを調整
します。スライダーを右に移動
すると境界のぼかしが強くなり、
左に移動するとぼかしが弱くな
ります。この設定を 0 にすると、
エッジがはっきりとして、多く
の場合は目的に合いません。通常
は、このスライダーを 2 または
3 より小さく設定しないでくだ
さい。

目的

フォーカス エリアのサイズを微調整する

「フォーカス範囲」スライダーを左に移動すると、フォーカス エリアを縮小できます。スライダーを右に移動すると、フォーカス エリアを選択範囲の端まで拡大できます。



範囲が選択されていない場合には、「被写界深度」ダイアログボックス内にある次のいずれかの選択ツールを使用して焦点領域を選択することができます。「円形」, フリーハンド , 矩形 , または ラスター選択 .



選択範囲はフォーカス エリアより多少大きめに作成し、その後「焦点範囲」スライダーを使用して、選択範囲の端を微調整してください。

画像をレタッチして保存する

Corel PaintShop Photo Pro には画像をレタッチする数多くの方法があります。小さな傷の除去や背景全体の消去、あるいは単なる赤目補正でも、必要なツールが見つかります。

このセクションでは以下について説明しています。

- 赤目を修整する
- 美容補正を適用する
- 画像の傷とオブジェクトを除去する
- 画像領域を切り取る
- 画像領域の色を付け直してリアルな効果を演出する
- 「スマートカーバー」による写真の拡大 / 縮小

赤目を修整する


Corel PaintShop Photo Pro には、写真から赤目を取り除く方法が 2 つあります。赤目をすばやく取り除くには、「赤目修整」ツールを使用します。より強力な修整が必要な場合は、高度な「赤目修整」コマンドを使用して、目の色を変更することができます。詳細については、ヘルプの「赤目修整の高度なオプションを使用するには」を参照してください。



「赤目修整」ツールは、被写体の瞳の赤をダークグレーに置き換えて自然に見えるように修復します。

ワンタッチ修整ツールを使用して赤目を修整するには

フルエディターワークスペース

- 1 ツールバーから、「赤目修整」ツール  を選択します。
- 2 「ツール オプション」パレットで「赤目のサイズ」コントロールを調整して、ポインタを赤目の領域の約2倍の大きさにします。
- 3 目の上に直接ポインタを置いて、クリックします。



必要に応じて、写真を拡大して「赤目修整」ツールをより容易に使用できるようにします。

Alt キーを押しながら、目の領域で「赤目修整」ツールをドラッグすると、動的にポインタのサイズを変更することができます。

美容補正を適用する

次の美容補正を実行すると、写真の被写体の外観を簡単によく見せることができます。

- シミの除去 – 「メイクオーバー」ツールの「シミ補正」モードを使用します。
- 歯のホワイトニング – 「メイクオーバー」ツールの「歯ブラシ」モードを使用します。
- 充血した目の修整 – 「メイクオーバー」ツールの「目ぐすり」モードを使用します。



- 日焼けの追加 – 「**メイクオーバー**」 ツールの「**日焼け**」モードを使用します。
- 被写体の細身効果 – 「**メイクオーバー**」 ツールの「**スリム**」モードを使用します。
- しわの除去 – 「**スクラッチ除去**」 ツールを使用します。
- スキントーンのスバヤイスムーズ化 – 「**調整**」メニューの「**スキンのスムーズ化**」コマンドを使用します。



シミの除去、歯のホワイトニング、日焼けの調整を行うことができます。

顔のシミを除去するには

フル エディター ワークスペース

- 1 ツールバーの「**メイクオーバー**」 ツール  を選択します。
- 2 「**ツール オプション**」パレットで、「**シミ補正**」  モードを選択します。
マウス ポインタが同心円に変わります。
- 3 「**ツール オプション**」パレットで、「**サイズ**」コントロールを最小サイズに調整して、内側の円にシミが囲まれるようにします。
外側の円はシミを覆うマテリアルに使用されます。

- 「ツール オプション」パレットで、「強度」コントロールを調整します。

値は 1 から 100 までの範囲です。値が高いほど、多くのソース材料（外側の円に囲まれている）がシミ領域（内側の円に囲まれている）に適用されます。



- シミを直接クリックします。



写真を拡大して、「メイクオーバー」ツールを使いやすくします。

歯をホワイトニングするには

フル エディター ワークスペース

- ツールバーの「メイクオーバー」ツール  を選択します。
- 「ツール オプション」パレットで、「歯ブラシ」  モードを選択します。
- 「ツール オプション」パレットで、必要に応じて「強度」コントロールを調整します。

値を大きく設定するとホワイトニングの効果は強くなりますが、外観が不自然になります。

- 歯を直接クリックします。

歯に隙間があったり、部分的にはっきりしていない場合は、このツールをそれぞれの歯に個別に適用する必要があります。




「メイクオーバー」ツールの「歯ブラシ」モードは、カラー写真にしか利用できません。

目のホワイトニング効果を適用するには



フル エディター ワークスペース

- ツールバーの「メイクオーバー」ツール  を選択します。

- 2 「ツール オプション」パレットで、「目ぐすり」 モードを選択します。
- 3 「強度」コントロールに値を入力 / 設定します。
値を大きくすると、目をより白くできますが、修整したい領域より広い範囲までホワイトニング効果が広がる場合があります。
- 4 必要に応じて画像を拡大して、注意しながら目の充血した部分をクリックしてください。



日焼けを適用するには

フルエディター ワークスペース

- 1 ツールバーの「メイクオーバー」ツール  を選択します。
- 2 「ツール オプション」パレットで、「日焼け」 モードを選択します。
- 3 「サイズ」コントロールに値を入力 / 設定します。
- 4 「強度」コントロールに値を入力 / 設定します。
値を大きくすると、より黒い日焼けになります。
- 5 被写体の肌の上を注意しながらドラッグしてください。




細身効果を適用するには

フルエディター ワークスペース

- 1 ツールバーの「メイクオーバー」ツール  を選択します。
- 2 「ツール オプション」パレットで、「スリム」 モードを選択します。
- 3 「強度」コントロールに値を入力 / 設定します。
値を大きくすると、横方向により多くのピクセルが圧縮されます。
- 4 被写体の中央をクリックします。
クリックした場所の両側のピクセルが圧縮されます。クリックを繰り返すと、細身効果が強まります。

顔のしわを除去するには

フル エディター ワークスペース

- 1 ツールバーで、「スクラッチ除去」ツール  を選択します。
- 2 「ツール オプション」パレットで、「直角エッジ」 または「斜角エッジ」 の範囲ボックスを選択します。
- 3 「幅」コントロールに値を入力/設定して、除去するしわをドラッグする範囲ボックスの内側の部分に合わせます。
- 4 しわのすぐ外側にポインタを配置して、内側の矩形にしわが囲まれるように、しわの上を注意しながらドラッグします。
しわが周囲の肌のテクスチャで覆われます。



やり直す必要がある場合は、補正を元に戻し、「幅」コントロールを調整し、もう一度ドラッグします。

しわが直線ではないときには、少しずつ補正します。

スキンの色調をスムージングするには

フル エディター ワークスペース

- 1 「調整」▶「スキンのスムース化」を選択します。
- 2 「スキンのスムース化」ダイアログボックスで、「量」スライダーを調整します。
スライダーを右に移動すると強めにスムージングされ、左に移動すると弱めにスムージングされます。



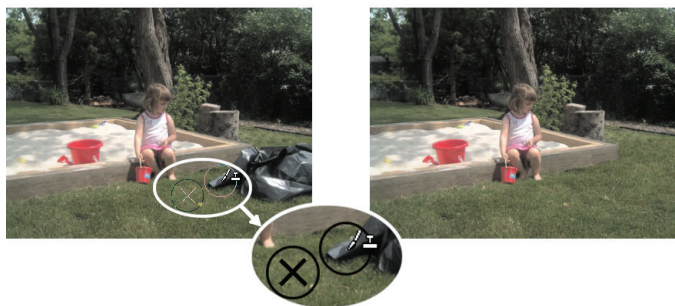
「スキンのスムーズ化」コマンドは、すばやくスキントーンをスムーズングしてしわやキズを減らします。



「スキンのスムーズ化」コマンドは、自動的にスキントーンを検出してスムーズングし、目や唇には影響がありません。ただし、写真の他の領域がスキントーンと色が似ているために影響を受ける場合は、選択範囲を使用してスムーズングする領域を分離できます。選択範囲の詳細については、101 ページの「選択範囲を作成する」を参照してください。

画像の傷とオブジェクトを除去する


「クローン ブラシ」ツールや「オブジェクト除去」ツールを使用して、画像の傷とオブジェクトを除去することができます。「クローン ブラシ」ツールを使用すると、画像の別の部分で上から重ねてペイントすることで、画像の傷とオブジェクトを除去することができます。同じレイヤー、画像内の別のレイヤー、結合された画像、または別の画像のレイヤーの一部をペイント元にすることができます。



「クローン ブラシ」ツールを使用して、左側の写真からごみ箱を除去しました。

画像の一部を複製するには

フル エディター ワークスペース

- 1 ツールバーで、「クローン ブラシ」ツール  を選択します。
- 2 「ツール オプション」パレットから、ブラシの形状、サイズ、不透明度などの設定を選択します。

「クローン ブラシ」ツールを使用して、ペイントを再開するたびにソース ポイントをリセットするには、「位置を合わせる」チェック ボックスをチェックします。ペイントする領域をドラッグし続けることで、元の画像で塗りつぶすことができます。チェック ボックスのチェックを外すと、元のソース ポイントからストロークごとに同じデータがコピーされます。

結合されたすべてのレイヤーからのデータを複製する場合は、「すべてのレイヤーを使う」チェック ボックスをチェックします。現在のレイヤーの情報のみを複製する場合は、チェック ボックスのチェックを外します。

- 3 元の画像で、ソース エリアの中心点を右クリックします。
画像に複数のレイヤーがある場合、ソース エリアを定義する前に、「レイヤー」パレットでレイヤーの名前をクリックします。

4 画像をドラッグして、複製した領域をペイントします。



Shift キーを押しながら画像をクリックして、ソース ポイントを設定することもできます。

Alt キーを押しながら画像ウィンドウをドラッグして、動的にブラシのサイズを変更することができます。

画像領域を切り取る


「オブジェクトの抽出」を使用して、周囲の背景から画像領域を切り取ることができます。その後、切り取った領域を背景とは別に編集し、異なる背景に表示したり、他の画像と組み合わせたりできます。




オブジェクトの抽出のワークフロー：(1) 画像領域のエッジをなぞります；(2) 塗りつぶします；(3) 切り取った領域をプレビューし、必要に応じてタッチアップします；(4) 切り取った領域を画像ウィンドウに持って行きます；(5) 切り取った領域を異なる背景画像に貼り付けます（オプション）。

画像領域を切り取るには


フル エディター ワークスペース

- 1 「レイヤー」パレットで、切り取る画像領域が含まれるレイヤーをクリックします。
- 2 「画像」▶「オブジェクトの抽出」を選択します。
「オブジェクトの抽出」ダイアログボックスが表示され、既定では**ブラシツール**が有効になります。
- 3 **ブラシ サイズスライダー**を移動してブラシのサイズを調整します。
- 4 プレビューウィンドウで、切り取る画像領域のエッジに沿って線を引きます。

選択範囲の枠線が周囲の背景よりもわずかに大きく、その領域を完全に囲んでいて、線の両端が閉じていることを確認します。

- 5 「塗りつぶし」ツールを選択し、切り取る領域の内側をクリックします。

オーバーレイがクリックした領域の画像を覆います。


注意：選択範囲の枠線が閉じていないと、画像全体が塗りつぶされます。そうなった場合は、**消しゴムツール**をクリックして塗りつぶしをクリアし、その後**ブラシツール**で選択範囲の枠線を閉じます。

- 6 「実行」をクリックして結果をプレビューします。

結果に満足できない場合は、「マスクの編集」をクリアして前のビューに戻り、切り取りをタッチアップします。

目的

選択範囲の枠線の一部分を消去する

消しゴムツールを選択し、削除する選択範囲のマーキーの上にドラッグします。

目的

最終結果のエッジの細かい部分を整形します。

オブジェクトの枠線が入り組んでいたり複雑な場合には「精度」スライダーを高値に移動します。「精度」スライダーは「実行」をクリックした後にのみ使用できます。

画像を初期状態に戻す

「リセット」をクリックします。「リセット」ボタンは「実行」をクリックする前にのみ使用でき、塗りつぶしと選択範囲の枠線をクリアします。

塗りつぶしオーバーレイとエッジの枠線

「マスクを隠す」チェックボックスをチェックします。



「オブジェクトの抽出」コマンドを使用すると、背景レイヤーは自動的にラスタレイヤーに変換されます。



プレビューウィンドウで右クリックし、ドラッグすることにより、ブラシツールから消しゴムツールに切り換えられます。

画像領域の色を付け直してリアルな効果を演出する



「カラーチェンジャー」ツールを使用すると、画像内のオブジェクトまたは領域の色をリアルに付け直すことができます。「カラーチェンジャー」ツールの設定は、他のツールやコマンドとは異なり、特定の色の陰影を考慮します。「カラーチェンジャー」ツールは、衣服、カーペット、ペイントしたオブジェクトなど、単色のマットオブジェクトで最も効果を発揮します。光沢のあるオブジェクトや反射するオブジェクトではあまり効果がなく、グラデーションやパターンでは使用できません。



クリックするだけで、少女の服の色を変更できます。


「カラーチェンジャー」ツールで色を塗り直すには

フルエディターワークスペース

- 1 ツールバーで、「カラーチェンジャー」ツール  を選択します。
「カラーチェンジャー」ツールは「塗りつぶし」ツールと同じグループにまとめられています。
- 2 「マテリアル」パレットで、「スタイル」ドロップリストの「カラー」ボタン  をクリックして単色を選択します。
「マテリアル」パレットが表示されていない場合は、「表示」▶「パレット」▶「マテリアル」を選択します。
リアルな色にするには、「マテリアルのプロパティ」ダイアログボックスで「彩度」の値を 255（彩度 100%）より 100 に近い値に設定します。
- 3 「カラーチェンジャー」ポインタを画像内の変更する色に置き、左クリックして前景 / 枠線の色で色を付け直すか、右クリックして現在の背景 / 内部の色で色を付け直します。
- 4 「適用」をクリックして、オブジェクトに色の変更を設定します。

目的

現在の画像に含まれる色を使用する

「色の選択」ツール  を選択し、画像内の使用したい色をクリックした後、「カラーチェンジャー」ツールを選択して再びアクティブにします。

色の適用を調整する

「適用」をクリックする前に、「ツールオプション」パレットで次のコントロールのいずれかまたは両方を調整します。

- 「許容値」は、現在の色がどの程度その色と一致したら色を付け直すかを決定します。
- 「エッジのソフトネス」— 色を付け直されるピクセルの周辺のピクセルに影響を与える度合いを決定します。値を大きく設定すると、色の付け直しにより拡散されます。



色を付け直す領域を分離するには、選択範囲を作成します。選択範囲の作成の詳細については、101 ページの「選択範囲を作成する」を参照してください。

「スマートカーバー」による写真の拡大/縮小

「スマートカーバー」により、写真の内容を歪ませずに、写真を狭く、広く、短く、または長くできます。写真内の構成的な詳細の少ない部分を自動的に検出・除去することにより、画像を大きく変更せずに縦横比を変えることができます。詳細の程度にかかわらず、写真から特定の部分も除去したり、特定のオブジェクトや画像領域を保持する事もできます。





「スマートカーバー」を使用してオブジェクトを除去/保持するには

フル エディター ワークスペース

- 1 「画像」▶「スマートカーバー」を選択します。

「スマートカーバー」ダイアログ ボックスが表示されます。



- 2 写真内のオブジェクトまたは領域を除去/保持するには、以下のどちらかまたは両方の操作を行います。

- **除去ボタン**  をクリックし、写真の除去する部分に**除去**ブラシを適用します。
- 拡大/縮小処理中に画像領域の一部が除去/変更されないようにするには、**保持ボタン**  をクリックし、写真の保持する部分に**保持**ブラシを適用します。

オブジェクトの除去領域で、ブラシサイズスライダーを左に移動するとブラシサイズが小さくなり、右に移動するとブラシサイズが大きくなります。

- 3 1つまたは複数の「スマートカーバー」オプションを適用して、写真を拡大/縮小します。

目的

「除去」または「保持」のブラシストロークの一部またはすべてを削除します。	消しゴムボタン  をクリックし、消去するブラシストロークに適用します。
拡大 / 縮小表示する	ズームボックスで、拡大レベルを入力するか、スライダーまたは矢印を使用してズーム幅を小さく / 大きくします。
パンして写真の隠されたエリアを表示	パンボタン  をクリックし、「プレビュー」ウィンドウをドラッグします。
「プレビュー」ウィンドウのブラシストロークを隠す	「マスクを隠す」チェックボックスをチェックします。
写真の元の状態にリセットする	「リセット」をクリックします。

「スマートカーバー」で写真を拡大 / 縮小するには

フルエディターワークスペース

- 1 「画像」▶「スマートカーバー」を選択します。

「スマートカーバー」ダイアログボックスが表示されます。

- 2 「スマートカーバー」ダイアログボックスの「スマートカービング」領域で、次の表から1つまたは複数の作業を実行し、「OK」をクリックします。

「プレビュー」ウィンドウで拡大 / 縮小の結果を見ることができます。

動作

操作方法

写真の幅を設定する

「幅」ボックスに値を入力 / 設定します。
注意: 最大幅は元の写真の幅の2倍です。


動作

操作方法


写真の高さを設定する

「高さ」ボックスに値を入力 / 設定します。
注意：最大高さは元の写真の高さの2倍です。


写真の幅を1ピクセルずつ減少する

画像が希望する幅になるまで**水平画像縮小ボタン**  をクリックします。


写真の高さを1ピクセルずつ減少する

画像が希望する高さになるまで**垂直画像縮小ボタン**  をクリックします。

写真の幅を1ピクセルずつ増加する

画像が希望する幅になるまで**水平画像拡大ボタン**  をクリックします。

写真の高さを1ピクセルずつ増加する

画像が希望する高さになるまで**垂直画像拡大ボタン**  をクリックします。

選択範囲を使う

編集のために画像の一部を選択することは、ワークフローの中でも重要な手順の1つです。選択範囲を作成することにより、選択範囲外の画像データを変更せずに、領域の編集を行うことができます。ドロワー ツールやペイント ツールを使用して、イメージ内の選択領域を変更できます。コマンドを適用して、選択領域で上下反転、コピー、トリミング、その他のアクションを実行することもできます。

選択領域の境界は選択範囲のマーカーで指定されます。これは黒と白の点線で、選択領域の枠線を表示します。




このセクションでは以下について説明しています。

- 選択範囲を作成する
- 選択範囲を変更する
- 選択範囲を反転/クリアする

選択範囲を作成する

画像の一部を選択範囲として分離したい場合、選択範囲を作成することができます。たとえば、写真のある領域を調整またはレタッチするとき、または写真の一部をコピーして他の写真に貼り付けるときに、選択範囲を使用できます。選択範囲の作成方法は、ラスター レイヤーかベクタ レイヤーのどちらを使用しているかによります。ラスター データおよびベクタ レイヤーの詳細については、111 ページの「レイヤーを理解する」を参照してください。

次の選択ツールは、ラスターの選択範囲の作成に使用できます：

- 「**選択**」ツール  — 矩形、正方形、楕円、円、星印などの特殊な形状の選択範囲を作成することができます。
- 「**自由選択**」ツール  — 花びらや手の指など、オブジェクトの周囲に沿って選択範囲を作成します。「フリーハンド」ツールで、4種類の選択範囲を作成することができます。
 - 「**フリーハンド**」 — ドラッグして、すばやく領域を選択することができます。
 - 「**エッジ検出**」 — 不規則な形状をした領域のエッジをクリックすると、色の違いに基づいて、その領域のエッジを検出します。
 - 「**フリーフォーム**」 — ある点の間を直線で結ぶことができ、まっすぐなエッジにより選択範囲を作成できます。
 - 「**スマートエッジ**」 — 不規則な形状をした領域の輪郭に沿ってクリックすると、エッジを自動検出します。
- 「**自動選択**」ツール  — オブジェクトの色、色相、明るさ、不透明度に基づいて選択範囲を選択します。このツールは、画像の他の領域とは異なり、明らかに異なるピクセルを含む領域を選択するように設計されています（たとえば、緑の葉に囲まれたピンクのバラ、鮮やかな画像にある一部の暗い部分などの領域）。




選択ツールで図形を使用して選択範囲を作成するか（左）、フリーハンドで選択範囲を作成するか（中央）、「自動選択」を使用して特定の色または不透明の領域を選択（右）できます。

ある選択ツールで選択範囲を作成した後で、他のツールに切り替えて、選択範囲を追加、削除することができます。詳細については、106 ページの「選択範囲を変更する」を参照してください。

「選択」ツールを使用して選択範囲を作成するには

フルエディター ワークスペース

- 1 ツールバーで、「**選択**」ツール  を選択します。
- 2 「ツール オプション」パレットで次のコントロールの設定を確認し、必要に応じて変更します。
 - 「**選択の種類**」－ 選択領域の形状を選択します。
 - 「**モード**」－ 既存の選択範囲に対する動作を「置き換え」、「追加」、「削除」から指定します。「**置換**」が既定の設定です。
 - 「**境界をぼかす**」－ フェードの幅をピクセル単位（0 から 200）で指定して、選択範囲のエッジをソフトにします。
 - 「**アンチエイリアス**」－ 選択範囲のピクセルをエッジに沿って半透明にすることで、滑らかにします。
- 3 ドラッグして選択範囲を作成する
ドラッグすると、境界線が選択範囲を表示します。ドラッグをやめると、選択範囲の境界線は選択範囲のマーキーに変わります。



選択範囲を作成すると、「ツール オプション」パレットの設定に加えた変更は、現在の選択範囲ではなく、次からの操作に適用されます。「**選択範囲**」▶「**変更**」を選択し、メニューからコマンドを選択することによって、現在の選択範囲のオプションを変更することができます。

「自由選択」ツールを使用して選択範囲を作成するには

フルエディター ワークスペース

- 1 ツールバーで、「**自由選択**」ツール  を選択します。

- 2 「ツール オプション」パレットで、「**選択の種類**」ドロップリストから次のオプションを選択します。
 - エッジ検出
 - フリーハンド
 - フリーフォーム
 - スマートエッジ
- 3 「ツール オプション」パレットで次のコントロールの設定を確認し、必要に応じて変更します。
 - 「**境界をぼかす**」－ フェードの幅をピクセル単位（0 から 200）で指定して、選択範囲のエッジをソフトにします。
 - 「**スムージング**」－ スムーズ化の量を指定し、選択範囲の境界線に適用します。
 - 「**アンチエイリアス**」－ 選択範囲のピクセルを半透明にすることで、滑らかにします。
 - 「**すべてのレイヤーを使う**」－ 選択した領域のすべてのレイヤーにあるエッジを検索します。このオプションは、複数のレイヤーからなる画像で「エッジ検出」や「スマートエッジ」の選択タイプを使っている場合に使用できます。
- 4 現在の選択タイプに応じて、次の表に示されている作業を実行します。

動作	操作方法
自由選択をする	イメージ領域をドラッグして選択します。
エッジ検出選択をする	選択したい領域のエッジを正確にクリックし、ダブルクリックまたは右クリックして選択を完了します。

動作

操作方法

スマート エッジ選択をする

選択する領域のエッジをクリックし、矩形のカーソルでエッジを囲みます。選択を完了するには、ダブルクリックまたは右クリックします。

フリーフォーム選択をする

選択したい領域の周囲をクリックし、ダブルクリックまたは右クリックして選択を完了します。




エッジ検出選択をする場合、「ツール オプション」パレットの「**範囲**」ボックスに値を入力して、エッジが検出されるまでの距離を設定することができます。

現在なぞっているエッジを頻繁にクリックすることにより、エッジ検出およびスマート エッジ選択範囲の精度を高めることができます。

直前のクリックを削除するには、「**削除**」を押します。

「自動選択」ツールを使用して選択範囲を作成するには

フル エディター ワークスペース

- 1 ツールバーで、「**自動選択**」ツール  を選択します。
- 2 「ツール オプション」パレットで、「**比較モード**」オプションを選択します。
- 3 「ツール オプション」パレットで次のコントロールの設定を確認し、必要に応じて変更します。
 - 「**許容値**」－ 選択したピクセルが、クリックした画像の中のピクセルと比較して、どのくらいの誤差までを条件に適合すると判断するかを指定します。低い値を設定すると、近似ピクセルのみが選択され、高い値を設定すると、より広範囲のピクセルが選択されます。

- 「境界をぼかす」－ フェードの幅をピクセル単位（0 から 200）で指定して、選択範囲のエッジをソフトにします。
- 「すべてのレイヤーを使う」－ 画像内のすべてのレイヤーから一致するピクセルを検索します。
- 「隣接した部分」－ クリックしたピクセルにつながるピクセルを選択します。
- 「アンチエイリアス」－ エッジに沿ってピクセル単位で部分的に塗りつぶし、半透明にすることによって、選択範囲のエッジを滑らかにします。このオプションは、選択範囲のマーキーの内側または外側で使用できます。

4 適合させたいピクセルを含む画像領域をクリックします。

条件に適合するすべてのピクセルの周囲に選択範囲のマーキーが表示されます。



選択を元に戻したり、「許容値」設定を調整したり、新しい選択をすることで、選択済みのピクセルの数を変更することができます。

選択範囲を変更する

選択範囲は、さまざまな方法で変更することができます。画像の内容を追加したり削除することによって、選択範囲を変更することができます。たとえば、大きな看板を運ぶ人物の絵の中で、矩形の「選択」ツールで看板を選択して、「自由選択」ツールで人物を選択範囲に追加する、という使い方が可能です。






いったん選択範囲を作成すると、それに範囲を追加することができます。

選択範囲の変更に関する詳細については、ヘルプの「選択範囲を変更する」を参照してください。

選択範囲に領域を追加 / 削除する

フルエディター ワークスペース

- 1 ツールバーで「選択」ツールを選択します（「選択」、「自由選択」、または「自動選択」 ツール）。
- 2 「ツール オプション」パレットで、ツールの設定値を選択します。
- 3 次の表にある作業を実行します。

動作

操作方法

選択範囲に領域を追加する

「モード」ドロップリストから、「追加」を選択し、選択範囲に追加したい画像領域を選択します。領域が隣接している必要はありません。

選択範囲から除外する

「モード」ドロップリストから、「削除」を選択し、選択範囲から削除したい画像領域を選択します。



Shift を押しながら、追加したい画像領域をクリックすることでも選択範囲に追加でき、また Ctrl を押しながら、削除したい画像領域をクリックすることでも選択範囲から削除することができます。

選択範囲を反転/クリアする

画像の入り組んでいる部分を簡単に選択する方法として、画像の選択する場所以外の部分を選択して、選択範囲を反転することができます。たとえば、単色を背景とした人物の絵の場合、背景を選択し、次にその選択範囲を反転すると、背景ではなく人物を選択できます。



単色の背景を選択して（左）選択範囲を反転することにより、多色からなる複雑な前景を分離することができます（右）。

また、画像内の選択範囲を解除して、選択範囲のマーキーを削除し、選択範囲を画像に戻すこともできます。選択範囲を解除すると、画像全体の編集を再開することができます。

選択範囲を反転するには

フル エディター ワークスペース

- ・ 「**選択範囲**」 ▶ 「**色の反転**」 を選択します。

選択範囲のマーキーが変化して、前は選択されていなかった画像領域を囲んで、前回選択されていた画像領域を除外します。

選択範囲を消去するには

フル エディター ワークスペース

- 「**選択範囲**」▶「**選択の解除**」を選択します。



フロート選択範囲の選択を解除すると、選択範囲はフロート解除され、下位のレイヤーに配置されます（レイヤーがラスターレイヤーの場合）。下位のレイヤーがベクタ レイヤーまたはアートメディア レイヤーの場合は、新しいラスター レイヤーが作成され、フロート解除された選択範囲はそこに配置されます。

レイヤーを使用する

Corel PaintShop Photo Pro のレイヤーを使用すると、画像への要素の追加、芸術的な効果やイラストレーションの作成、画像の編集を簡単に行うことができます。レイヤーは、追加したり、削除したり、重なり順序を変更したり、さまざまな方法でピクセルをブレンドしたりすることができます。レイヤーは、結合しない限り、他のレイヤーに影響を及ぼさずに個別に編集できます。

このセクションでは以下について説明しています。

- レイヤーを理解する
- 「レイヤー」パレットを使用する
- レイヤーを作成する
- レイヤーの名前を変更する
- レイヤーを表示する
- 画像の中でレイヤーの順序を変更する

レイヤーを理解する

Corel PaintShop Photo Pro で画像を作成またはインポートした場合、その画像にはレイヤーは1つしかありません。この1つのレイヤーは、作成またはインポートした画像の種類に応じて、「背景」、「ラスター」、「ベクター」、「アートメディア」のいずれかのラベルが付けられます。写真を開いたり、スキャンしたり、画面キャプチャーをした場合、この1つのレイヤーは、「レイヤー」パレットで「背景」のラベルが付けられます。



レイヤーは個別のシートのようなもので、これを組み合わせ
て最終的な作品を完成させます。

追加したレイヤーは、背景の上に重ねられた透明のシートとして表示されます。ブラシストローク、ベクターオブジェクト、テキストを追加するに伴って、背景レイヤーが覆い隠されていきます。透明な領域を通して下位のレイヤーを見ることができます。複数のレイヤーを重ねることにより、芸術的な作品、写真のコラージュや複雑なイラストレーションを制作できます。レイヤーの種類に関する詳細については、ヘルプの「レイヤーを理解する」を参照してください。


単純な補正やレタッチを行う場合は、画像にレイヤーを追加する必要はありません。ただし、画像を補正する前にレイヤーを複製するのが良いでしょう。そうすることで、複製されたレイヤーに変更と適用し、元の画像をその元のレイヤーに維持しておくことができます。画像に要素を追加する、写真を組み合わせる、テキストを追加する、その他の効果を適用するといった複雑な作業を実行する場合は、レイヤーを使用して作業することを強くお勧めします。次の表に例を挙げます。

動作

操作方法

編集を始める前に元の画像を保護する

「レイヤー」▶「複製」を選択して、背景レイヤーの複製を作成します。複製されたレイヤーで作業を行うには、「レイヤー」パレットでそのレイヤーをクリックしてアクティブなレイヤーにします。

動作	操作方法
色調を補正する	直接画像に変更を加えずに、調整レイヤーを使用します。
テキストやグラフィックを追加する	線分や図形などのテキストとグラフィックは、ベクターレイヤー上に作成すると編集がしやすくなります。
効果を作成する	背景レイヤーを複製してできたレイヤーに効果を適用します。次に、レイヤーの不透明度やブレンドモードを変更して、2つのレイヤーをブレンドします。
ペイントを作成する	ツールバーから「アートメディア」ツールを選択して、「ツール オプション」パレットの「トレース」チェックボックスをチェックします（アートメディアレイヤーが自動的に作成されます）。アートメディアブラシを使用すれば、印象的な効果を作成できます。
写真を結合して、写真のカラージュを作成する	結合する写真を開き、基本の画像として使用する画像を決めます。この基本の画像に他の画像をコピーするには、コピーする画像をクリックし、「編集」▶「コピー」を選択した後、基本の画像をクリックして「編集」▶「新しいレイヤーとして貼り付け」を選択します。「移動」ツール  を使用して、それぞれのレイヤーの位置を決めます。不透明度の設定とブレンドモードを使用して、それぞれのレイヤーがどの程度透けて見えるかを調整します。マスクレイヤーを使用して、レイヤーの一部分を隠したり、レイヤーの境界をぼかしたりします。

動作

操作方法

パノラマ写真を
作成する

境界付近が少しずつ重なり合うように一連の写真を撮影します。

パノラマ写真を表示するのに十分な大きさのキャンバスで画像を作成して、それぞれの写真を別々のレイヤーにコピーします。1つのレイヤーの不透明度を下げて、下のレイヤーが透けて見えるようにします。「移動」ツール \star を使用して、隣り合うレイヤーの端がぴったり合うようにします。すべてのレイヤーの位置を調整したら、不透明度の設定を100%に戻します。

「レイヤー」パレットを使用する

「レイヤー」パレットには、画像内のすべてのレイヤーが一覧表示されます。このパレットでのレイヤーの順序は、その画像の中でレイヤーがどのような順序で重なっているかを示しています。一番上のレイヤーが最初に表示され、一番下のレイヤーは最後に表示されます。レイヤーの種類によって、レイヤーパレットでレイヤーが重なる順序を変更することができます。

「新しいレイヤー」

ドロップリスト

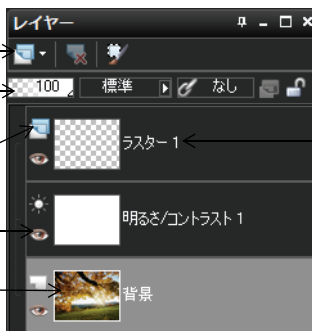
アクティブレイヤー

の設定

レイヤーの
種類の表示

レイヤーの表示/
非表示切り替え

レイヤーのサム
ネイル



レイヤー名 (カス
タマイズが可能)

「レイヤー」パレット

既定では、レイヤーの内容を示すサムネイルの表示は、レイヤー名の左側に表示されます。サムネイルのサイズを設定したり、サムネイルを非表示にしたりすることができます。既定では、アクティブなレイヤーの設定は、一番上のサムネイルプレビューの上に表示されますが、これらの設定の外観は変更できます。

画像に複数のレイヤーが含まれている場合、作業を行うレイヤーを選択する必要があります。画像に対して行う作業は、選択したレイヤーにしか影響を及ぼしません（このレイヤーのことを「アクティブレイヤー」と呼びます）。一度に1つのレイヤーしか選択することができません。

「レイヤー」パレットの表示 / 非表示を切り替えるには

フルエディターワークスペース

- 「表示」▶「パレット」▶「レイヤー」を選択します。

このコマンドは「レイヤー」パレットの表示 / 非表示を切り替えます。

レイヤーを選択するには

フルエディターワークスペース

- 「レイヤー」パレットでレイヤーの名前をクリックします。

レイヤーを作成する

「レイヤー」パレットからレイヤーを作成できます。レイヤーを作成する場合は、レイヤーの種類、不透明度、ブレンドモードなどのプロパティを指定できます。このプロパティは、レイヤーを操作するときにも変更できます。選択範囲、ベクターオブジェクト、または他の画像からレイヤーを作成することもできます。

「テキスト」ツール、「アートメディア」ツール、またはベクタードロ잉ツール（「ペン」ツール、「図形」ツールなど）を使用すると、レイヤーが自動的に作成されます。

「レイヤー」パレットからレイヤーを作成するには

フル エディター ワークスペース

- 1 「レイヤー」パレットで、新しいレイヤーを作成する位置の下になるレイヤーをクリックします。
- 2 「レイヤー」パレットのツールバーにあるドロップリストからレイヤーの種類を選択します。
- 3 レイヤー プロパティの有効なコントロールを調整します。
- 4 「OK」をクリックします。

アクティブレイヤーの上に新しいレイヤーが追加されます。新しいレイヤーには、レイヤーの種類と番号で名前が付けられます（「ベクター 1」など）。

レイヤーの名前を変更する

画像にレイヤーが追加されるにつれて、目的のレイヤーを探すのが困難になります。「レイヤー」パレットで目的のレイヤーを見つけやすくするように、レイヤーの名前を変更することができます。

レイヤーの名前を変更するには

フル エディター ワークスペース



- 1 「レイヤー」パレットで、名前を変更するレイヤーをクリックし、少し待ってからもう一度クリックします。
ボックス内で名前がハイライト表示されます。
- 2 ボックスに新しい名前を入力し、Enter キーを押します。

レイヤーを表示する

画像内のレイヤー、レイヤーグループ、ベクターオブジェクトの表示/非表示を切り替えることができます。見えないレイヤーは画像の中に残っていますが、非表示になっています。

レイヤーの表示 / 非表示を切り替えるには

フル エディター ワークスペース

- 表示または非表示にするレイヤーに対して「レイヤーの表示 / 非表示」ボタンをクリックします。
 -  - レイヤー表示時の表示 / 非表示ボタン
 -  - レイヤー非表示時の表示 / 非表示ボタン

画像の中でレイヤーの順序を変更する

画像内でのレイヤーの順序によって、その画像の見え方は大きく変化します。画像内のレイヤーを再配置する場合は、「レイヤー」パレットでレイヤーの重なり順を簡単に変更できます。

レイヤーまたはレイヤー グループを移動するには

フル エディター ワークスペース

- 「レイヤー」パレットで、レイヤーまたはレイヤー グループを選択して、重なり順の新しい位置にドラッグします。
ドラッグすると、黒色の線によってレイヤーの位置が示されます。

効果を適用する

Corel PaintShop Photo Pro では、3D、アーティスティック、照明、反射、写真をはじめとした、数多くの特殊効果を画像に適用することができます。画像にフレームを追加したり、画像でペイントしたり、画像の領域を歪ませて、オリジナルな効果を作成することもできます。

このセクションでは以下について説明しています。

- 効果を選択する
- 写真効果を適用する
- ピクチャ フレームを画像に追加する
- ピクチャ チューブ ツールを使用する
- 画像を歪ませる

効果を選択する

効果メニューや効果ブラウザーを使用して、効果を選択できます。

ほとんどの効果は、ダイアログ ボックスで設定を調整することでカスタマイズできます。効果を適用するためのダイアログ ボックスには、いくつかの共通した機能があります。

- 「変更前」ペインには元の画像が表示され、「変更後」ペインでは、現在の設定を適用した画像をプレビューできます。
- 「設定のロード」ドロップリストは、既定では「前回使った設定」に設定されています。「設定」を使用すると、複数の画像に同じ設定を適用できます。



効果のダイアログボックスの例。最後に使用された既定の設定から設定が変更されています。

効果ブラウザーを使用する

画像に効果を適用する前に複数の効果をプレビューする場合は、効果ブラウザーを使用することができます。効果ブラウザーには、Corel PaintShop Photo Pro の既定の設定とユーザー作成の設定の両方が表示されます。

効果ブラウザーでサムネイルのプレビューを表示するために、Corel PaintShop Photo Pro は効果の既定の設定や既に保存されている設定を画像に適用します。設定は、Corel PaintShop Photo Pro ファイル形式のスクリプト (PspScript) として保存されます。



サムネールを使用して、効果をプレビューしたり選択することができます。

効果ブラウザー

「効果」メニューから効果を選択するには

フルエディター ワークスペース

- 1 「効果」メニューから効果カテゴリーを選択し、効果を選択します。たとえば、「効果」▶「歪み効果」▶「回転」を選択します。ほとんどの効果の場合、ダイアログボックスが表示されます。
- 2 必要な設定を指定するか、「設定のロード」ドロップリストから設定を選択します。


「変更後」ペインで効果をプレビューすることができます。

注意：すべての効果で「設定」を使用できるわけではありません。

- 3 「OK」をクリックします。

目的

再利用のために設定を保存する

「設定の保存」ボタン  をクリックし、「設定名」ボックスに名前を入力して、「OK」をクリックします。

設定を既定値にリセットする

「設定のロード」ドロップリストから「既定」を選択します。

目的

効果を特定の領域に限定する

効果を選択する前に選択範囲を作成します。

効果ブラウザーから効果を選択するには

フル エディター ワークスペース

- 1 「効果」▶「効果ブラウザー」を選択します。

効果ブラウザーが表示されます。

- 2 左ペインの階層リストから、次のいずれかを実行します。
 - 画像に適用されるすべての効果をプレビューするには、「設定」フォルダーをクリックします。
 - 効果カテゴリーをプレビューするには、「効果」フォルダーのサブフォルダー（3D 効果、アーティスティック効果、フォト効果など）をクリックします。

Corel PaintShop Photo Pro は、選択されたフォルダーをスキャンし、各効果設定を適用した画像のサムネイルを作成します。

- 3 効果の設定を選択するには、サムネイル画像をクリックします。
- 4 「適用」をクリックします。

目的

選択した設定を変更する

「変更」をクリックし、効果のダイアログ ボックスで設定を調整します。

注意：調整できない効果の場合、このボタンは使用できません。

目的

サムネイル プレビューをサイズ
変更する

「ファイル」▶「環境設定」▶「全
般の設定」を選択し、左側の
「表示とキャッシュ」をクリック
します。「効果ブラウザー サムネ
イル」グループ ボックスの「サ
イズ (ピクセル)」コントロール
で値を設定します。

効果を特定の領域に限定する

効果を選択する前に選択範囲を
作成します。

選択範囲の作成については、
101 ページの「選択範囲を作成
する」を参照してください。

写真効果を適用する

画像にさまざまなフォト効果を適用して、従来の写真技術や現像処理を再現できます。

タイム マシン

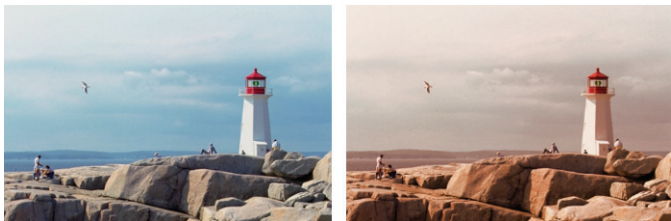
タイム マシンを使用すると、過去に流行した写真スタイルを複製することができます。タイム マシンでは、1839 年から 1980 年までの 7 種類のスタイルを選択できます。



左の写真は元の写真であり、右の写真にはタイム マシンダ
ゲレオタイプのスタイルが適用されています。

フィルムとフィルター

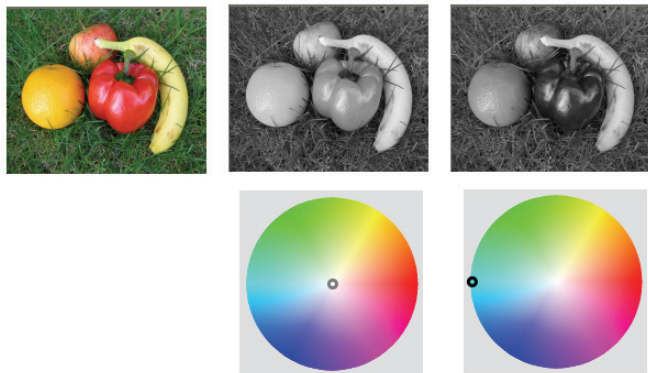
Corel PaintShop Photo Pro では、さまざまなタイプのカメラ フィルムやフィルターを使用した効果を再現できます。



夕日のフィルターを使用すると、暖かみのあるオレンジ色の色調が加わります。

白黒フィルム

写真を白黒フィルムで撮ったような効果を再現することができます。効果を変えるために、さまざまな RGB 値を適用したり、画像の明るさとフォーカスを調整することができます。



「白黒フィルム」ダイアログ ボックスのフィルターの色調整を使用して、元の写真（上列左端）とは大きく異なる画像を作成できます。

赤外線フィルム

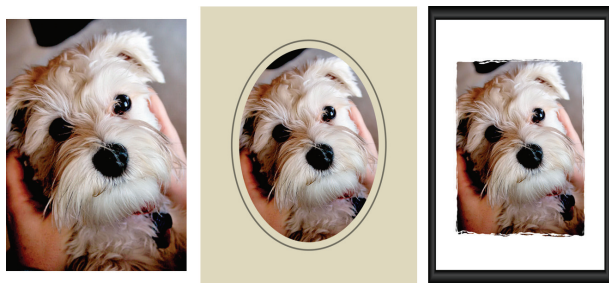
カメラに赤外線レンズ フィルターを装着して白黒赤外線フィルムで撮影したような写真を再現することができます。本物らしさを向上させるために、フィルムのざらつきや閃光の設定を調整することができます。

セピア トーン

セピア フィルムを使用して写真を撮影したときの見かけを再現することができます。セピア トーンの画像は、白黒写真（グレースケール写真とも呼ばれます）に似ていますが、色調がグレーではなく茶色になります。

ピクチャ フレームを画像に追加する

ピクチャ フレームを追加して人目を引く画像に仕上げることができます。長方形または楕円形のフレーム、モダンまたはクラシック フレーム、写真用のマットやエッジなど、さまざまなスタイルを選択できます。フレームは個別のレイヤーに適用されるため、通常のレイヤーと同じように編集できます。



画像の周りにフレームを追加することができます。

ピクチャ チューブ ツールを使用する

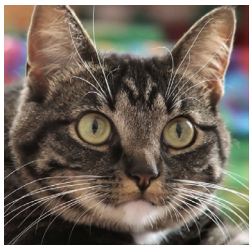
「ピクチャ チューブ」 ツールを使用して、オブジェクトのコレクションでペイントすることができます。たとえば、蝶や昆虫をピクニックの写真に追加したり、花を使った写真のフレーム（枠）を作成することができます。Corel PaintShop Photo Pro に含まれているピクチャ チューブを使用したり、オリジナルを作成することができます。



「ピクチャ チューブ」 ツールを使用すると、設定したさまざまな画像を写真に適用して、オリジナルな効果を作成することができます。

画像を歪ませる

ワープ ブラシを使用して、画像のピクセルにワープ効果を生成することで、画像領域を歪ませることができます。画像の領域を回転し、画像の一部を縮小または拡大して、さらに多くの面白い効果を作成することができます。グリッドを使用して画像を歪ませることもできます。「メッシュ ワープ」 ツールを使用するときには、画像上にグリッドまたはメッシュを配置します。グリッドの交差点にはメッシュポイントまたはポイントがあり、それらをドラッグして変形を行います。



「ワープ ブラシ」 ツールは戯画の作成用に使用されます。

色やマテリアルを使用する

画像に色を適用したり写真の色を修整する場合は、Corel PaintShop Photo Pro がどのような方法で色を扱っているのかを理解することが重要です。このセクションでは、ペイント、描画、塗りつぶしなどの作業に画像で使用する色やマテリアルを選択する方法を説明します。

このセクションでは以下について説明しています。

- マテリアルパレットを操作する
- カラーピッカーを使用して色を選択する
- 画像またはデスクトップから色を選択する

マテリアルパレットを操作する

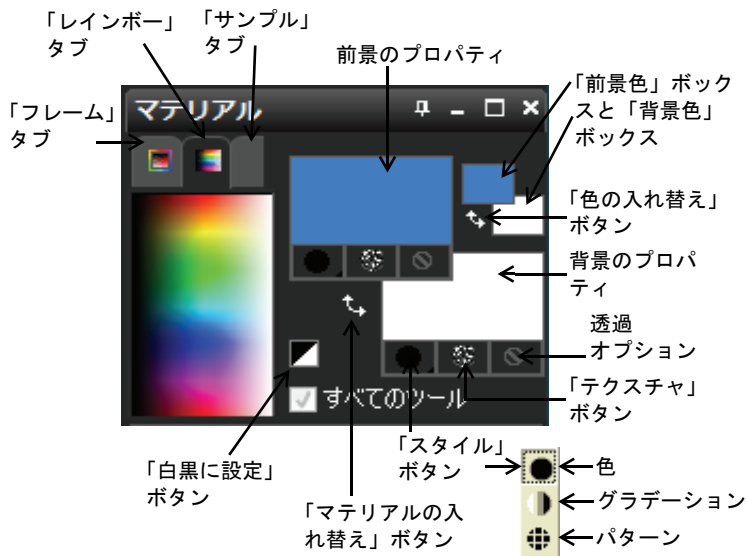
Corel PaintShop Photo Pro を使用すると、多彩なスタイルとマテリアルを使用してペイントしたり、描画したり、塗りつぶすことができます。

- スタイルとは、単色、グラデーション、パターンのことです。
- スタイルにテクスチャを加えたのがマテリアルです。

スタイルとマテリアルは「マテリアル」パレットで選択できます。

「マテリアル」パレットはいつでも表示でき、作業中も開いたままにしておくことができます。「マテリアル」パレットを使用しないときは、閉じることができます。

前景と背景の色やマテリアルを反転することもできます。










「マテリアル」パレット

「マテリアル」パレットの主なコンポーネント

- 「フレーム」タブ – 外側の「色相」領域と内側の「彩度」領域が、白、3階調のグレースケール、黒に分かれた帯とともに表示されます。縦のスライダーをドラッグすれば明度、横のスライダーをドラッグすれば彩度を調整できます。
- 「レインボー」タブ – 「利用できる色」パネルを表示します。このパネルをクリックして色を選択します。このタブの一番下には、白色、黒色、3段階のグレーを選択するための部分があります。
- 「サンプル」タブ – サンプルを表示します。サンプルとは、再び使用することができるように保存されたマテリアルのことです。
- 「前景のプロパティ」と「背景のプロパティ」ボックス – 現在の前景および背景マテリアルを表示します。これらのマテリアルは

スタイル（色、グラデーション、またはパターン）とオプションのテクスチャで構成されています。これらのボックスをクリックして「マテリアル プロパティ」ダイアログ ボックスを表示し、マテリアル オプションを設定することができます。

- 「前景色」と「背景色」ボックス — 現在の前景と背景色を表示します。現在のマテリアルに関係なく色を設定できます。
- 「スタイル」ボタン  — 現在選択されているスタイルを表示します。スタイルには色 、グラデーション 、またはパターン  があります。最近選択した色 / グラデーション / パターンの間で変更するには、ドロップリストから「スタイル」ボタンをクリックして新しいスタイルを選択します。
- 「テクスチャ」ボタン  — 現在選択しているテクスチャを適用するかどうかを切り替えます。
- 「白黒に設定」ボタン  — 前景色を黒に、背景色を白に設定します。選択範囲機能を使用する際に便利です。
- 「透過」ボタン  — 前景または背景のマテリアルが透明であることを示します（別の言い方をすると、スタイルやテクスチャを持っていないということです）。透明のマテリアルは主として、ベクター オブジェクトやベクター テキストに対して使用されます。前景のマテリアルが透明に設定されている場合は、輪郭線が現れません（オブジェクトやテキストは内部が塗りつぶされているだけとなります）。背景のマテリアルが透明に設定されている場合は、内部が塗りつぶされません（オブジェクトやテキストは輪郭線で囲まれているだけとなります）。
- 「すべてのツール」チェック ボックス — 選択した前景および背景のマテリアルをすべてのツールに適用するかどうかを指定します。このチェック ボックスのチェックを外すと、選択したマテリアルは使用中のツールにのみ適用されます。「すべてのツール」チェック ボックスは「テキスト編集」コマンドには適用されません。



マテリアルパレットを表示/非表示にするには

フルエディターワークスペース

- 「表示」▶「パレット」▶「マテリアル」を選択します。

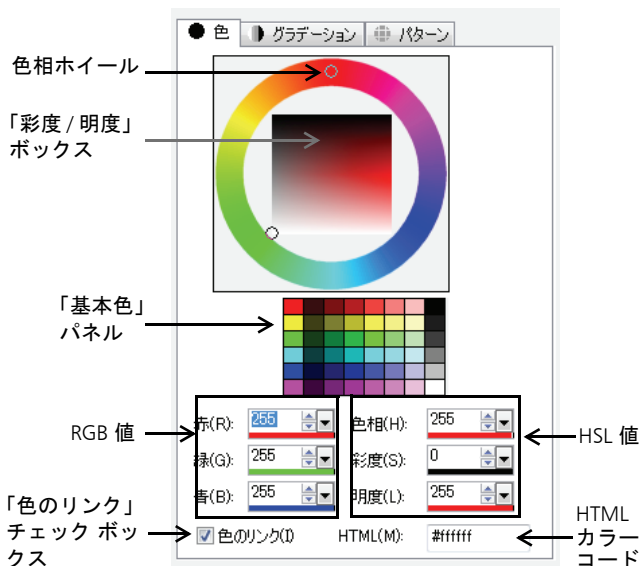
前景色と背景色またはマテリアルを入れ替えるには

フルエディターワークスペース

- 「マテリアル」パレットから、「色の入れ替え」ボタン  または「マテリアルの入れ替え」ボタン  をクリックします。

カラーピッカーを使用して色を選択する

Corel PaintShop Photo Pro で画像を編集する際、ペイント、描画、塗りつぶし、手動による色調補正や、新しいラスター画像の背景色の選択などを行う前に色を選択しておく必要があることがよくあります。カラーピッカーは最も用途の広い、色を選択するためのツールです。



カラー ピッカー

カラー ピッカーの外観は現在の画像の色数によって異なります (16 ビット/チャネル、8 ビット/チャネル、256 色、16 色、または 2 色)。

カラー ピッカーを使用して色を選択するには

フルエディター ワークスペース

1 「マテリアル」パレットで次のいずれかの操作を行います。

- 前景色を選択するには、「**前景のプロパティ**」ボックスまたは「**前景色**」ボックスをクリックします。
- 背景色を選択するには、「**背景のプロパティ**」ボックスまたは「**背景色**」ボックスをクリックします。

「マテリアルのプロパティ」ダイアログ ボックスまたは「カラー」ダイアログ ボックスが表示されます。

「マテリアルのプロパティ」ダイアログ ボックスが表示された場合は、「カラー」タブをクリックします。

- 2 色相ホイールをクリック / ドラッグして、おおよその色を選択します。
- 3 「彩度 / 明度」ボックス内をクリックまたはドラッグして、選択した色の彩度と明度を設定します。

目印を左から右に動かすと彩度を調整し、上から下に動かすと明度を調整します。

目的

色サンプルをクリックして基本色を選択する	カラー ホイールの下に表示される「基本色」パネルで色サンプルをクリックします。
----------------------	---

赤、緑、青 (RGB) 値を指定して色を選択する	「赤」、「緑」、「青」の各ボックスに値を入力します。
--------------------------	----------------------------

色相、彩度、明度 (HSL) の値を指定して色を選択する	「色相」、「彩度」、「明度」の各ボックスに値を入力します。
------------------------------	-------------------------------


HTML コードを使用して色を指定する	「HTML」ボックスに HTML カラーコードを入力します。
---------------------	--------------------------------

画像またはデスクトップから色を選択する

前景色や背景色はすべての開いている画像、または Corel PaintShop Photo Pro にあるすべての色（ツールバー上の色など）から選択できます。この機能は特定のアイコンの色を使用する、または Windows デスクトップの色に合わせる場合に役立ちます。

作業中の画像から色を選択するには

フル エディター ワークスペース

- 1 ツールバーの「色の選択」ツール  を選択します。
- 2 「ツール オプション」パレットで、目的のオプションを設定します。
 - 「サンプル サイズ」ドロップリスト - サンプリングする目的のピクセル適用範囲を選択します。
 - 「すべてのレイヤーを使う」チェック ボックス - すべての画像レイヤーからサンプリングする場合は、このチェック ボックスをチェックします。
- 3 画像内で色をクリックするとその色が前景色に、右クリックするとその色が背景色に設定されます。



ブラシ ツール（「ペイント ブラシ」ツール、「消しゴム」ツールなど）を使用中に画像から色を選択するには、Ctrl キーを押しながら画像をクリックします。クリックすると前景色、右クリックすると背景色を選択できます。

デスクトップから色を選択するには

フル エディター ワークスペース

- 1 必要な色が画面に表示されていることを確認します。
- 2 「マテリアル」パレットやダイアログ ボックスの中にある「前景色」/「背景色」ボックスまたは「前景のプロパティ」/「背景のプロパティ」ボックスにマウス ポインタを置きます。

注意：「マテリアル」パレットでは、前景色と背景色を別々に割り当てる必要があります。
- 3 Ctrl キーを押しながら、マウス ポインタを割り当てたい色のあるデスクトップの領域に置きます。
- 4 Ctrl キーを押したままクリックして、色を選択します。

選択した色が「前景色」/「背景色」ボックスまたは「前景のプロパティ」/「背景のプロパティ」ボックスに表示されます。

色の選択を変更する場合は、Ctrl キーを押しながらデスクトップの別の場所をクリックします。

テキストを使用する

Corel PaintShop Photo Pro によって、テキストを画像に追加して、面白いテキスト効果を得ることができます。

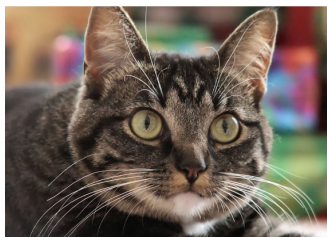
このセクションでは以下について説明しています。

- テキストを適用する
- テキストの書式を設定する

テキストを適用する

Corel PaintShop Photo Pro は、さまざまな種類のテキストを画像に適用します。ベクタ、ラスタ、選択範囲のテキストを適用できます。適用するテキストは作成する効果によって異なります。

ベクタ テキストは、多くの方法で使用され、テキスト文字をいつでも編集できるので、最も用途の広いタイプのテキストです。テキストの種類に関する詳細については、ヘルプの「テキストを適用する」を参照してください。




写真にテキストを追加できます。


ベクタ テキスト、ラスタ テキスト、選択範囲ベースのテキストは、いつでも削除できます。


テキストを作成するには

フル エディター ワークスペース

- 1 ツールバーで、「テキスト」ツール **A** を選択します。
- 2 「マテリアル」パレットで、「前景のプロパティ」ボックスをクリックして、テキストの枠線の色を選択します。
「マテリアル」パレットが非表示の場合は、「表示」▶「パレット」▶「マテリアル」を選択します。


枠線のないテキストを作成する場合は、「前景のプロパティ」ボックスの下にある「透過」ボタン  をクリックします。

- 3 「マテリアル」パレットで、「背景と枠線のプロパティ」ボックスをクリックして、テキストの塗りつぶしの色を選択します。
枠線だけのテキストを作成する場合は、「背景のプロパティ」ボックスの下の「透過」ボタン  をクリックし、「ツールオプション」パレットで「枠線の幅」コントロールを 1.0 以上に設定します。
- 4 「ツールオプション」パレットで、「作成形式」ドロップリストから次のうち 1 つを選択します。

- **ベクタ** – ベクタ レイヤー上に存在する完全に編集可能なテキストを作成します。このテキストタイプは既定で、多くの方法で使用されます。
 - **「選択範囲」** – テキスト文字の形をした選択範囲のマーキーを作成します。マーキーは、下位のレイヤーで塗りつぶされます。
 - **「フローティング」** – ラスタ テキストをフロート選択範囲として作成します。選択範囲を移動することはできますが、テキスト文字を編集することはできません。
- 5 「ツール オプション」パレットで、フォント、フォント サイズ、単位、フォント スタイルを選択します。
- 注意:**「単位」ドロップリストには、2 つのオプションがあります。印刷出力用の「ポイント」と Web 出力用の「ピクセル」です。
- 6 画像ウィンドウで、テキストを加える箇所をクリックし、テキストを入力し、[ツール オプション] パレット上の**適用ボタン**  をクリックします。
- テキストの周囲に**選択範囲**が表示されます。
- 7 次のいずれかの操作により、テキスト位置を調整します。
- ポインターの形が 4 方向矢印に変わるまでポインターを境界ボックスの中央に置き、テキストを希望の位置までドラッグします。
 - ポインターの形が 2 方向矢印に変わるまでポインターを境界ボックスの角に置き、上下にドラッグしてテキストを回転させます。



マテリアルパレットを使用してテキストの枠線と塗りつぶす色を選択する方法については、129 ページの「マテリアルパレットを操作する」を参照してください。


テキストを適用する前に、[ツール オプション] パレットの**変更をキャンセルボタン**  をクリックする、または Esc キーを押すことによりテキスト入力モードを継続することができます。



また、テキストを入力した後でテキストオブジェクトの外側をダブルクリックすることにより、テキストを適用する事ができます。

テキストを削除するには

フル エディター ワークスペース

- 1 ツールバーで、「ピック」ツール  を選択します。
- 2 削除するベクタ テキストをクリックします。
- 3 削除 キーを押します。


テキストの書式を設定する


Corel PaintShop Photo Pro のテキストの書式オプションでは、テキストの外観を制御できます。ベクタ テキスト、ラスタ テキスト、選択範囲のテキストを作成するときにこれらのオプションを設定できます。ベクタ テキストを作成する場合は、テキストの書式設定を変更することによって、いつでもテキストの書式を再設定できます。ラスタ テキストの内容や書式を変更することはできません。「ピック」ツールでのみ、ラスタ テキストを変更することができます。





テキストの書式設定に関する詳細については、ヘルプの「テキストの書式を設定する」を参照してください。

フォント属性を変更するには

フル エディター ワークスペース

- 1 ツールバーで、「テキスト」ツール  を選択します。

- 2 変更するベクタテキスト文字の上をドラッグして選択します。
注意：Ctrl+A キーを押して、テキスト全体を選択することもできます。
- 3 「ツール オプション」パレットで、次の表のタスクを実行し、「適用」ボタンをクリックします。

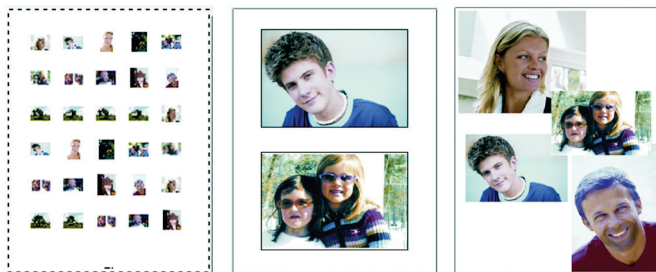
動作	操作方法
フォントを変更する	「フォント」ドロップリストからオプションを選択します。
フォントのサイズを変更する	「サイズ」ドロップリストからオプションを選択します。
フォントの測定単位を変更する	「単位」ドロップリストで印刷出力用の「ポイント」または Web 出力用の「ピクセル」を選択します。
テキストを太字にする	「ボールド」ボタン  をクリックします。
テキストを斜体にする	「斜体」ボタン  をクリックします。
テキストに下線を引く	「下線」ボタン  をクリックします。
テキストに取り消し線を適用する	「取り消し線」ボタン  をクリックします。

印刷する

Corel PaintShop Photo Pro には、作業内容を印刷するための多数のオプションがあります。

画像を印刷する

Corel PaintShop Photo Pro には、画像を印刷するための方法が数多く用意されています。オーガナイザー、フル エディター、またはエクスプレス ラボのデータを印刷することができます。テンプレートを
使用したり、特別なレイアウトを使用して特定のサイズおよびレイアウト要件に合わせるすることができます。



コンタクトシートを印刷（左）したり、標準サイズの写真に印刷（中央）したり、カスタム印刷レイアウトを作成（右）することができます。

テンプレートを使用すると、画像の印刷サイズや配置が簡単になります。テンプレートを使用すると、4 × 6 インチ、5 × 7 インチ、10 × 15 センチなどの標準のサイズで画像をレイアウトおよび印刷することができます。Corel PaintShop Photo Pro の既定のテンプレー

トを使用したり、作成したページ レイアウトから独自のカスタム テンプレートを作成したりできます。

独自のレイアウトを作成すると、画像を任意のサイズに印刷したり、プロジェクトのカスタム ページ（スクラップブックなど）を作成するなどの柔軟な作業を行うことができます。レイアと作成に関する詳細については、ヘルプの「レイアウトを作成する」を参照してください。また、お使いのバージョンのアプリケーションに

Corel PaintShop Project Creator が含まれている場合には、フォトブック、カレンダー、コラージュなどを素早く簡単にアレンジすることができます。詳細については、Corel PaintShop Photo Project Creator のヘルプを参照してください。

現在の画像を印刷するには

フル エディター ワークスペース

- 1 「ファイル」▶「印刷」をクリックします。
- 2 「プリンター」グループ ボックスで、「プリンター」をクリックします。
「印刷」ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 「名前」ドロップリストからプリンターを選択して、「OK」をクリックします。
- 4 「配置」タブをクリックして、「コピー数」コントロールに値を入力します。
- 5 「方向」グループ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 縦
 - 横
- 6 「サイズと位置」ダイアログ ボックスで、次のコントロールいずれかを設定します。

- 「幅」と「高さ」－ 幅と高さの値を指定して、画像のサイズを設定します。
 - 「スケール」－ 割合を入力して、画像のサイズを変更します。
 - 「ページに合わせる」－ 印刷されるページに画像を合わせます。
 - 「ページの中央」－ 印刷されるページの中央に画像を配置します。
 - 「ページの左上」－ 印刷されるページの左上端に画像を配置します。
 - 「カスタム オフセット」－ 「左のオフセット」と「上のオフセット」ボックスに値を入力できるようにします。
- 7 「オプション」タブをクリックします。
 - 8 「印刷出力」グループ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 色
 - グレースケール
 - CMYK 分解
 - 9 「印刷」をクリックします。

コンタクト シートを印刷するには


オーガナイザー ワークスペース

- 1 オーガナイザーで、印刷するファイルを選択します。
- 2 次の表にある作業を実行します。


動作

選択した画像を印刷する

操作方法

Ctrl キーを押したまま、印刷するサムネイルをクリックします。「**コンタクトシートの印刷**」ボタン  をクリックし、「コンタクトシートの印刷」ダイアログボックスの設定を選択し、「**印刷**」をクリックします。

選択したフォルダーにあるすべての画像を印刷する

オーガナイザーウィンドウ内を右クリックし、「**すべて選択**」を選択します。「**コンタクトシートの印刷**」ボタン  をクリックし、「コンタクトシートの印刷」ダイアログボックスの設定を選択し、「**印刷**」をクリックします。



印刷オプションに関する詳細については、ヘルプの「印刷について」を参照してください。

テンプレートを使って、画像を印刷するには

フル エディター ワークスペース

- 1 メディアトレイで、印刷する画像のサムネイルを選択します。
- 2 「ファイル」▶「印刷レイアウト」をクリックします。
「印刷レイアウト」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ファイル」▶「テンプレートを開く」をクリックします。
「テンプレート」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「カテゴリー」グループボックスで、リストからカテゴリーを選択します。


各カテゴリーのテンプレートのサムネイルは、ウィンドウの右側に表示されます。保存したカスタムテンプレートが「ユーザー定

義 カテゴリーの下に表示されます。画像とともにカスタム テンプレートを保存すると、セルが色で塗りつぶされます。

- 5 テンプレートを選択して、「OK」をクリックします。

注意：前に画像をテンプレートに保存した場合、テンプレートセルとサムネイル リストに画像が表示されます。画像が消失したテンプレートでは、テンプレートのサムネイルのセルはグレーで表示されます。

- 6 テンプレートのセルに画像をドラッグします。

テンプレートに同じ画像のコピーを配置する場合、サムネイルをクリックし、「**画像を配置する**」ボタン  をクリックします。

- 7 「ファイル」▶「印刷」をクリックします。



画像へのリンクを含めてテンプレートを保存する方法の詳細については、ヘルプの「ファイルの場所を設定する」を参照してください。



画像を選択して「**削除**」を押すと、テンプレートから画像を削除できます。

「ファイル」▶「**画像を開く**」を選択しても、画像を開くことができます。

画像の電子メール送信とシェアリング

Corel PaintShop Photo Pro には、画像を電子メールで送信するオプションや、フォトシェアリング サービスを通じて画像を共有できるオプションがあります。

このセクションでは以下について説明しています。

- 写真、ビデオ、フォトムービーを電子メールで送信する
- 画像をフォトシェアリング サービスに送信する

写真、ビデオ、フォトムービーを電子メールで送信する

写真、ビデオ、およびフォトムービーを Corel PaintShop Photo Pro から直接電子メールで送信できます。これらのアイテムを電子メールで送信するときは、画像ウィンドウ、メディアトレイ、またはオーガナイザーを使用します。

ビデオとフォトムービーは、添付ファイルとしてのみ送信できます。

写真のサイズを選択する

写真のサイズを変更して、サイズを縮小したり、電子メール全体のサイズを小さくすることができます。たとえば、写真のサイズを縮小して、携帯電話に送信できるようにすることができます。

電子メールアプリケーション

電子メールを使用してアイテムを送信するには、インターネットへの接続が確立されており、お使いのコンピューターに MAPI 標準をサポートする既定の電子メールアプリケーション (Microsoft Outlook®

または Outlook Express) がインストールされ、MAPI 電子メール クライアントを使用するように設定されている必要があります。

写真、ビデオ、フォトムービーを電子メールで送信するには

フルエディター ワークスペース

- 1 「ファイル」 ▶ 「電子メール」 を選択して、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 「現在の画像」 — 現在、画像ウィンドウでアクティブになっている画像を送信できます。
 - 「すべての開いている画像」 — 画像ウィンドウに表示されているすべての画像を送信できます。
 - 「すべての選択された項目」 — オーガナイザーまたはメディアトレイで現在選択されているすべてのアイテム（写真、ビデオ、またはフォトムービー）を送信できます。
- 2 「送信形式」 ダイアログ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 「埋め込み画像」 — 電子メールのメッセージ本文に画像を表示します。
 - 「添付ファイル（元のファイル形式）」 — アイテムを個別の添付ファイルとして送信します。このオプションは、元のファイル形式を維持します。
- 3 「画像の最大サイズ」 ドロップリストからサイズ設定を選択します。

注意：この設定は、フォトムービーとビデオでは使用できません。

電子メールの合計サイズがプレビューの横に表示されます。



「プレビュー」サムネイルの下に表示される再生矢印をクリックすると、送信するアイテムを確認できます。

画像をフォトシェアリング サービスに送信する

お手持ちの Corel PaintShop Photo Pro のバージョンに Corel PaintShop Photo Project Creator が含まれている場合には、YouTube、Flickr、または Facebook を使用して写真やビデオを簡単に共有できます。また、写真をオンラインで注文することもできます。詳細については、Corel PaintShop Photo Project Creator のヘルプを参照してください。

索引

C

Corel Photo Downloader

カードリーダーで使用する
36

カメラで使用する 36

Corel サポート サービス 8, 18

Corel ナレッジ ベース 18

Corel アプリケーションをアン インストールする 4

E

EXIF 情報

とともに画像を保存 40

H

HDR 写真結合 77

HD ビデオ 13

HSL カラー モデル

値から色を選択する 134

HTML コード

色を指定する 134

I

IPTC データ 39

J

JPEG ファイル 39

P

PNG ファイル 39

R

RAW ファイル 39

RAW 写真 61

カメラ RAW ラボを使用する
62

サポートされているファイル
形式 62

設定を調整する 63

他の形式に変換する 65

編集する 64

編集をキャプチャーする 64

編集を適用する 64

RGB カラー モデル

値から色を選択する 134

W

Web 上のリソース

アクセス 18

あ

アート消しゴム ツール 34

赤目、修整する 85

赤目ツール 86

赤目ツール 30

明るさとコントラスト 79

値

HSL、色を指定する 134

RGB、色を指定する 134

新しい機能 2

アプリケーション

アンインストールする 4

アプリケーションの インストール 4

アプリケーションを習得する 15

い

維持

画像 112

一般情報パネル

表示 55

移動

レイヤー 117

移動ツール 30

イメージのスプレー 126

色

選択 134, 135

色鉛筆ツール 33

トーン

スキンをスムージングする
90

色相と彩度を調整する 81

色の自然な彩度、強調する 81

色の選択ツール 30

背景

色を入れ替える 132

色を付け直す

画像領域 95

印刷レイアウト テンプレート

イメージの印刷 146

印刷

画像 143

現在の画像 144

コンタクト シート 145

サムネイル 146

テンプレートの付いた画像
146

- フォルダーの内容 146
- プロフェッショナルな出力 143
- う**
- ウェブツールバー
 - ウェブ 28
- え**
- エアブラシ ツール 31
- エクスプレス ラボ 21
 - オーガナイザーまたはメディアアトレイから起動する 58
 - オーバービュー 59
 - 画像を取り込む 60
 - 終了する 60
 - メインアプリケーションウィンドウから起動する 58
- エクスプレス ラボ モード 57
- エッジ
 - シャープにする 75
 - 背景で塗りつぶす 73
- エッジ検出選択範囲 104
- 遠近補正 ツール 30
- エンボス ツール 31
- お**
- 覆い焼きツール 31
- オーガナイザー 20, 43
 - 印刷する 143
 - カレンダーで画像を検索する 47
 - 画像情報を表示および編集する 54
 - 画像を検索する 45
 - 画像を削除する 52
 - 画像を開く 38
 - 画像をプレビューする 50
 - サムネイルを使用する 50
 - 設定する 43
 - タグが付けられた画像を検索する 47
 - タグを画像に割り当てる 46
 - タグを削除する 46
 - タグを追加する 46
 - パネルのオーバービュー 20
 - 表示モードを選択する 44
 - 表示を更新する 51
 - ファイルの名前を変更する 52
 - フォルダーを参照する 48
 - 編集をキャプチャーして適用する 52
- オーガナイザーのサムネイル パネル 20

オーガナイザーのツリーパネル
19

オーガナイザーのプレビュー
ウィンドウ 20

オーバービューパレット 26

オブジェクト

除去する 91, 98

背景から切り取る 94

オブジェクト除去ツール 31

オブジェクトの抽出 93

か

カードリーダー

写真の取り込み 36

回転させる

画像 68

画像のサムネイル 52

画像を 90 度 68

画像を動的に 69

顔のシミ、除去する 87

顔のしわ

除去する 90

顔のしわ、除去する 90

拡大 / 縮小

「スマートカーバー」による
写真の拡大 / 縮小 97

角度、傾きを補正 73

カスタマー サポート 8, 18

傾き補正ツール 30

傾きを補正

角度 73

画像 71

補正後に画像をトリミングす
る 73

カメラ RAW ラボ 62

カラー

HSL 値から選択する 134

HTML コードで指定する 134

RGB 値から選択する 134

カラー ピッカーで選択する
132

画像から選択する 134

前景と背景を入れ替える 132

デスクトップから選択する
134

変更する 95

補正 113

カラー ピッカー

色を選択する 132, 133

カラー消しゴム ツール 32

カラーチェンジャーツール 32,
96

カレンダー

画像を検索する 47

画像

検索 45

整理する 43

閉じる 39

編集をキャプチャーする 52

保存する 39

画像情報

表示 38

画像のサムネイルの並べ替え 51

画像の情報 54

キャプション 55

評価 55

画像の整理 43

画像の調整

自動 73

スマート修整 74

ワンステップで調整する 74

画像の評価 55

画像の明確度、強調する 80

画像領域を複製する 91

画像を圧縮する 39

画像を検索する 45

カレンダーを使用して
検索する 47

キーワード タグを使用する
47

クイック検索 45

画像を調整する 67

画像を閉じる 37

画像を歪ませる 126

き

キーワード タグ

「タグ」を参照

傷、除去する 91

起動する

Corel PaintShop Photo Pro 6

機能、新しい 2

キャプション、追加 55

共有

写真 149

ギザギザ

選択範囲のエッジ 104

く

クイック レビュー モード

ファイルを電子メールで送信
する 149

矩形ツール 33

クレヨン ツール 33

クローン ツール 30

グラフィック、レイヤーに追加
113

け

消しゴム ツール 32

結合する

画像 113

こ

効果

値をリセットする 121

効果ブラウザーから選択する
122

効果メニューから選択 121

作成 113

参照する 122

白黒フィルム 124

赤外線フィルム 125

設定の変更 122

設定の保存 121

セピア トーン 125

タイム マシン 123

適用する 119

フィルムとフィルター 124

フォト 123

効果ツールバー 28

効果の再利用 121

効果ブラウザー 120

更新

Corel 製品 7

チェックする 18

コラージュ 113

コンタクト シート

印刷 145

コントラスト、調整する 79

さ

再生する

オーガナイザーからビデオを
再生する 51

彩度 80

増加 / 減少する 75, 81

彩度ツール 32

削除する

オーガナイザーから画像を削
除する 52

画像 41

サポート、カスタマー 8, 18

サムネイル

オーガナイザーで使用する
50

- 回転する 52
- 拡大 / 縮小する 51
- 画像を表示する 49
- 選択されたものを印刷する 146
- 並べ替え 51
- ビデオを再生する 51
- フォルダーを参照する 49
- プレビュー領域での表示 38
- サンプル**
 - 色の選択 134
- し**
- 色相 80
- 色相ツール 32
- シミ、除去する 87
- 染み付けツール 31
- シャープにする
 - エッジ 75
- シャープネス ツール 31
- 写真**
 - 段階露出を組み合わせる 77
- 写真ツールバー 28
- 写真の取り込み**
 - Corel Photo Downloader 36
 - カードリーダーから 36
- 写真を暗くする 75
- 写真を単色化する 80
- 写真をダウンロードする 36
- 写真をつなぎ合わせる 114
- 写真を電子メールに埋め込む 149
- 斜体テキストの書式設定 141
- 修整**
 - 画像をワンステップで修正する 74
 - スマート修整で画像を修正する 74
- 終了 6
- 消去
 - 画像領域 93, 97
 - 背景領域 94
- 書式の設定**
 - テキスト 140
- 深度、調整する 80
- 自動化**
 - 基本的な写真補正 73
- 自動選択ツール 30
 - 選択範囲を作成する 105
- 順序の変更**
 - レイヤー 117

自由選択ツール 30

選択範囲を作成する 103

自由選択範囲 104

す

スキンのスムージング機能

スキントーンをスムージングする 90

スクラッチ除去ツール 30

スクリプト ツールバー 28

スクリプト出力パレット 27

スタイル 129

ステータス ツールバー 28

ステータス バー 23

ストローク

プロパティの設定 130

スマート エッジ選択範囲 105

スマートカーバー 97

スマート修整

基本的な修整を微調整する 74

スムージング

スキントーン 90

選択範囲の境界線 104

スリム効果 89

ズーム

効果ダイアログ ボックス内でのズーム 120

サムネイル 51

「スマートカーバー」で 99

ズームツール 29

図形ツール 32

せ

赤外線フィルム効果 125

セピア トーン効果 125

線

テキストに適用する 141

選択

サムネイル 146

レイヤー 115

選択ツール 30

選択範囲を作成する 103

選択範囲 101

クリア 108

作成 101

自由選択ツールで作成する 103, 105

除外する 107

選択ツールで作成する 103

追加する 107

反転 108

変更する 106

選択範囲を反転する 108

前景

- 背景と入れ替える 132

前景と背景を入れ替える 132

そ

送信

- ファイルを電子メールで送信する 149
- フォトシェアリング サービスに画像を送信する 151

ソフトネス ツール 31

た

ターゲットツール 32

対称図形ツール 33

タイム マシン効果 123

タグ 45

- カタログから削除する 46
- 画像に割り当てる 46
- 作成する 46
- タグが付けられた画像を検索する 47

楕円ツール 33

ち

抽出背景からオブジェクトを抽出する 94

チュートリアル 15

チョーク ツール 33

つ

ツール

- 種類 29
- ズーム 29
- にじみ 33
- パレット ナイフ 33

ツール オプション パレット 26

ツール ツールバー 28

- ツールを使用する 29

ツールバー 28

- カスタマイズする 28
- 非表示にする 28
- 標準 28
- 使用する 28
- 標準 28
- 表示する 28

ツールヒント

- ツールバー用 28
- ツール用 29

- て
 - テキスト 137
 - フォント属性を変更する 140
 - レイヤーに追加 113
 - 作成 138
 - 削除 140
 - 書式の設定 140
 - テキスト ツール 32
 - テキストに下線を付ける 141
 - テクニカル サポート 18
 - デジタル カメラ
 - 写真の取り込み 36
 - デジタル ワーク フロー 11
 - デジタル写真
 - ノイズの除去 76
 - デジタル写真、ダウンロード 35
 - 電子メール送信
 - ファイル 149
- と
 - 登録記号
 - 印刷 143
 - トーン
 - 「HDR 写真結合」で範囲を拡大する 77
- 「ローカルトーンマッピング」で調整する 80
- スキン 89
- スマート修正で微調整する 74
- レイヤーで補正する 113
- 取り消し線テキストの書式設定 141
- トリミング
 - 傾き補正後の画像 73
 - 画像 69
- トリミング ツール 30
- トリミング領域
 - 90 度回転させる 71
 - クリア 71
 - 縦横比率を保持する 71
 - 自由に回転させる 71
 - 動的に定義する 71
- トンボ 143
- な
 - 名前の変更
 - オーガナイザーのファイルの名前を変更する 52
 - レイヤー 116
- に
 - にじみツール 33

ニュースグループ 18

ぬ

塗りつぶしツール 32

塗りつぶす

トリミング領域の端 73

プロパティ 129

の

ノイズ、除去する 76

は

歯、ホワイトニング 88

背景

トリミング領域の端を塗りつぶす 73

領域を消去する 94

背景からオブジェクトを切り取る 94

背景消しゴム ツール 32

反転する

前景と背景 132

パステル ツール 33

パノラマ写真 114

パレット 23

種類 26

使用する 26

非表示にする 27

表示する 27

パレット ナイフ ツール 33

パン ツール 29

ひ

ヒストグラムパレット 27

日焼け、適用する 89

日焼け効果 89

表示する

レイヤー 116

オーガナイザーの画像を表示する 44

「オーガナイザープレビュー」ウィンドウを更新する 51

カメラ RAW ラボの RAW 画像 62

フルスクリーンモード 50

標準ツールバー 28

表示を更新する、オーガナイザーの 51

開く

Corel PaintShop Photo Pro 6

オーガナイザーの画像を開く 38

画像 37

ビデオ

HD 13

オーガナイザーから再生する
51

電子メール送信 149

フォトムービー 13

ピクセル

背景に復元する 94

ピクチャ チューブ 126

ピクチャ チューブ ツール 32,
126

ピクチャ フレーム 125

ピック ツール 30

ふ

ファイル

圧縮 39

オーガナイザーから開く 38

電子メール送信 149

ファイル形式、選択する 39

ファイルを電子メールに
添付する 149

フィルター

効果の適用 124

フィルム効果、適用する 124

フォーカス

写真のエッジの

シャープニング 75

被写界深度を使用して
作成する 81

フォトムービー

電子メール送信 149

フォト効果 123

白黒フィルム 124

赤外線フィルム 125

セピア トーン 125

タイム マシン 123

フィルムとフィルターの効果
124

フォトシェアリング サービス 149

画像を送信する 151

フォルダー

すべてのカタログを表示する
50

画像を参照する 48

フォルダーから印刷 146

フォント

属性の変更 140

復元する

画像 85

フリーフォーム選択範囲 105

フル エディター 23

フレーム、追加する 125

ブラシ オプション パレット 27

プッシュ ツール 31

プレビュー

オーガナイザーの画像 50

画像 38

へ

ヘルプ

Web 上のリソース 18

ヘルプ システム、使用 17

編集する

画像の編集を

キャプチャーする 52

キャプチャーした編集を適用
する 53

ペイント 113

ペイント ブラシ ツール 31

ペン ツール 33

ほ

補正

カラー 113

トーン 113

美容補正を適用する 86

保存

EXIF 情報を持つ画像 40

効果の設定 121

保存する

画像 39

ボールドテキストの書式設定
141

ぼかす

選択範囲のエッジ 101

被写界深度効果 83

ま

マーカー ツール 33

マーカー, 選択範囲 101

マテリアル 129

前景と背景を入れ替える 132

マテリアル パレット 26, 129

表示 / 非表示 132

み

ミキサー パレット 27

め

明度 80

メークオーバー ツール 30

シミを除去する 87

スリム効果の適用 89
歯をホワイトニングする 88
日焼けを適用する 89
目ぐすりを適用する 88

目ぐすり、適用する 88

目ぐすりモード 88

メッシュワープ ツール 33

メディアトレイ
ファイルを電子メールで送信
する 149

メディアトレイパレット 26

メニューバー 23

や

焼き込みツール 31

ゆ

油彩ブラシ ツール 33

ら

ラーニングセンターパレット
16, 26

「ラーニングセンター」パレ
ット
使用する 16
透過の表示 / 非表示 16

ライト/ダーク ツール 31

ラスト選択範囲 101

り

リソース

習得する 15

履歴パレット 27

れ

レイヤー 111

移動 117

作成 115

写真編集で使用する 112

順序の変更 117

選択 115

テキストまたは図形を
追加する 113

名前を変更する 116

表示する 116

レイヤーパレット 26, 114

表示 / 非表示 115

レイヤーの選択 115

レタッチする

画像 85

連絡先シート

印刷 143

ろ

ローカル トーン マッピング 80

ロード

画像 35

わ

ワーク フロー 11

ワークスペース

間で切り換える 25

エクスプレス ラボ 21

オーガナイザー 20

既定のワークスペースを理解
する 19

既定のワークスペースガイド
19

現在の画像の削除 41

フル エディター 23

ワーブ ブラシ ツール 33

画像を歪ませる 126

ワン ステップ 修整

写真 74

ノイズ 76

印刷レイアウト→「印刷レイ
アウト テンプレート」を参照

写真の明度を上げる

「写真を明るくする」を参照

情報, 画像

「画像情報」を参照

特殊効果

「効果」を参照

編集

画像「画像を調整する」を
参照

製品の仕様、価格、パッケージング、テクニカル サポート、情報（仕様）は小売りの英語版のみに適用されます。その他のすべてのバージョン（他の言語のバージョンを含む）の仕様は異なる場合があります。

情報は、明示・黙示を問わずその他一切の保証または条件（市販可能な品質に関する保証、適正品質に関する保証、または商品性・特定用途への適合性等の保証、あるいは、法律その他の法令、取引慣行、取引過程等により発生するものを含むがこれに限らない）を伴わずに Corel 社によって「現状有姿」ベースで供給されるものとします。提供される情報の運用およびその結果に関する全リスクはお客様が引き受けるものであり、当社は、お客様およびその他いかなる個人または法人に対しても、間接損害、付帯損害、特別または派生的損害（収入または利益の喪失、データの滅失または損傷、その他の商業的または経済的な損害を含むがこれに限らない）につき一切責任を負いません。前述のような損害の可能性につき当社が連絡を受けていた場合、あるいはそのような損害が予測可能であった場合も同様とします。また、Corel は第三者による請求についても責任を負いません。Corel が支払う債務の総額は、お客様が本製品の購入に際して支払った金額を超えないものとします。州または国によって派生的損害もしくは付帯損害について債務の除外または制限が認められないことがあります。その場合には、前述の限度はお客様には適用されません。

© 2010 Corel Corporation. All rights reserved. Corel、CorelDRAW、Paint Shop Pro、Painter、Corel DESIGNER、Smart Carver、Thinify、VideoStudio、WordPerfect、WinDVD、WinZip、Digital Studio および Corel のロゴは、Corel Corporation とその関連会社の商標および登録商標です。その他のすべての記載されている製品名、および登録および未登録の商標は、識別の目的でのみ使用されており、それぞれの所有者が独占権を有しています。